

極真への道



The way to Kyokushin

第 1 5 号

2024

極真空手愛媛国際セミナー
愛媛国際親善空手道大会

オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦
第28回全日本少年少女空手道選手権大会

オープントーナメント
第2回全日本極真空手道選手権大会

戸田師範インドセミナー

全国「型」競技大会

兄弟道場生特集

強豪列伝

戸田道場は大きな家族だ

～国際セミナーで結束力、利他の思いが見えた～



一般社団法人国際空手道連盟
極真会館 愛媛県戸田道場

代表師範 戸田美智男

今年 3 月 27 日から 31 日までの 5 日間に亘り、松山市を中心に国際セミナーを開催しました。

日本を含んだ世界 12 カ国から約 130 人の参加があり、国内から集まった田畑繁理事長など 10 人を超える師範方の指導により、愛媛県武道館でのセミナーを初め、四国 88 ヶ寺仙遊寺での瞑想、しまなみ海道でのサイクリング、松山城周辺での稽古、国際親善大会、最後の国際昇段審査など多くの行事を行いました。

参加した海外の道場生からは「日本の文化、歴史に触れる素晴らしい体験ができた」「空手の本場である日本の指導者から指導を受けられて感動した」などと大きな反響がありました。

日本の師範方からも「一体となった運営は素晴らしく大成功である」との声を頂きました。

これは約 1 年前から事務局の寒作智美味酒支部長が各国と連絡を密にした他、組織の皆さんが一丸となって運営した結果だと思います。

海外の参加者の受付けから、連日の行事や国際親善大会に多くの師範代、支部長、副支部長、そして道場生、そして少年部の保護者の皆さんが、成功への熱い利他の気持ちを持って臨んでもらったのでした。

中には仕事を連続して休んで、ホテルに泊まり込むなどして全力で国際セミナーに取り組んでもらった道場生が数多くいました。

私はその様な姿を見て、本当に感謝の気持ちで胸が熱くなる思いでした。

こんなに多くの方たちが、組織のために働いてくれる道場は日本中でも少ないのではないのでしょうか。

国際セミナーが終って 3 日後に、潮見本部道場に松山に残っていたスウェーデンのヨハン師範とベルギーのルー師範が稽古に参加して頂きました。

稽古が終ってヨハン師範が私に「戸田道場は大きな家族のようですね」と言ってもらい、戸田道場のみんなが家族のように仲良く、まとまって国際セミナーを成し遂げたと感じてもらったと思いました。

何よりのお褒めの言葉だと、本当に嬉しく感激しました。

戸田道場は強さだけを求めるのではなく、これからも結束し家族の様に仲良く、極真空手によって人生が豊かになるように歩んでいきたいと思います。

お手伝いして頂いた皆さんに心からお礼を申し上げます。

2024愛媛国際セミナー 世界12か国130人参加！

KYOKUSHIN KARATE 2024 EHIME INTERNATIONAL SEMINAR

(一社)国際空手道連盟極真会館(極真連合会)主催で、極真会館愛媛県戸田道場(代表師範 戸田美智男)が運営した「2024愛媛国際セミナー」が松山市を中心とした愛媛県で3月27日(水)から31日(日)までの5日間開催されました。

日本からは田畑繁理事長を中心に、小井義和師範、七戸康博師範、桑島靖寛師範、三和純師範、岡本徹師範、山下武範師範など10人を超える師範方が一丸となってチームを作り連日熱心に指導を行いました。

この国際セミナーは極真空手創始者の大山倍達総裁の技と精神を共に修行し、さらに日本の伝統文化に触れてもらって、世界各地で戦火が広がっていることから深く理解し合うことにより国境、人種を超えて平和な世界を目指すという大きな目的がありました。

この濃密な5日間を運営に従事した私(戸田美智男)がレポートしました。



オーストラリア、カナダ、カザフスタン、ドイツ、スウェーデン、オランダ、ベルギー、中国、南アフリカ、イラク、チリから参加

3月27日(水) セミナー1日目(受付、オリエンテーション、各国自己紹介、空手セミナースタート、セルフディフェンス、ウェルカムパーティ)

地元の木材で建築された雄大な姿を誇る愛媛県武道館に午前9時の開場と同時に国内外から次々と参加者が集まってきました。

参加国は参加者20人を超えるオーストラリア、カナダ、カザフスタンやドイツ、スウェーデン、オランダ、ベルギーというヨーロッパ組、アジアからは中国、そして遠くは南アフリカ、中近東のイラク、南米チリの海外勢109人と日本人を合わせると130人を超えた参加数となり、その内3分の1が女性です。



田畑理事長の熱い指導で幕を開ける。



筆者(戸田美智男)も護身術を教える。

受付が終わると、スケジュールパンフレットを渡してオリエンテーションを行った後に早速、空手セミナーの1回目がスタートしました。

世界の師範方20人以上が前に立ち、田畑理事長の熱い指導で基本の手技、足技それぞれ30本づつを手始めに行い、最後に300本の上段廻し蹴りを気合を込めてやり遂げました。

その後に場所を大会議室に移し、各国の代表者による挨拶とセミナー参加の意気込みを発表し、それぞれが初めての顔合わせを行いました。

続いて警察官、しかも刑事として凶悪犯と対峙する機会の多かった私が警察学校と県警極真空手部で長きに亘り指導してきた逮捕術と捌きをミックスした「セルフディフェンス(護身術)」の演武を行った後に、参加者に実際にお互いに技を掛け合って制圧方法を修得してもらいました。

オーストラリアのリッチー・サンダース師範の奥様である鈴木ひろ子さんに日本の警察官は拳銃の使用がかなり制限されていて、素手での犯人制圧が重要となることなどを通訳して頂きました。

後半は田畑理事長、七戸師範、岡本師範、私が指導する4グループに分かれて移動の稽古を行い1日目の稽古が終わりました。

夜にANAクラウンプラザホテルにて「ウェルカムパーティ」を催し、道後検番の芸者さん2人が参加しての踊りや唄、松山名物の「野球拳」によるじゃんけん競技などで大いに盛り上がりました。

また、会場には松山市を舞台にした夏目漱石の小説「坊ちゃん」に出てくる坊ちゃんやマドンナの衣装を準備し海外の方に着てもらったり、戸田道場の道場生が所有する模造の日本刀や火縄銃を展示して手に取り、日本の文化と伝統に触れてもらい大いに盛り上がりました。



3月28日(木) セミナー2日目(四国88ヶ寺仙遊寺での瞑想、型稽古&しまなみ海道サイクリング)

2日目は2台のバスで45キロほど離れた今治市に赴き、1グループは幽玄な深い山中にある四国88ヶ寺58番札所「仙遊寺」本堂で小山田弘憲副住職により瞑想の歴史と実務の指導をして頂き初めて経験し、さらに高野山大学空手道部出身である小山田憲正住職が指導する空手道場で田畑理事長と七戸師範の指導により「五十四歩(スーシホ)」などの高度な型を中心とした型指導を受けました。

型稽古を行ったこの道場は、寺の宿坊に付属していて天空のように今治市内や瀬戸内海のロケーションがパノラマのように一望できる素晴らしい環境の中での稽古ができ、皆さんは感動しながら懸命に取り組んでいました。

もう一方のグループは、今治市と尾道市を結ぶ世界的に有名なサイクリングロードである「しまなみ海道」を、レンタルサイクリングを借りて眼下の激しい渦潮を見ながら、大島までのサイクリング専用道路の往復約10キロを瀬戸内海の美しくも壮観な眺めを満喫しながら走破しました。



ランチは来島大橋と来島海峡を一望できる糸山サイクリングステーション内の「風のレストラン」を借り切って地元の名物の「鯛料理」をいただきました。午後は2つのグループが交代したのですが、サイクリングの方は雨が降り始め事故防止のために残念ながら中止としました。

とはいえ、約1500年という古い歴史のある四国88ヶ寺と瀬戸内海の風景を満喫していただいたものと思います。



3月29日(金) セミナー3日目(松山城での稽古とお花見経験・審判講習と岡本徹師範世界チャンピオンセミナー)

セミナー3日目は前日の雨が嘘のように晴れ上がって青空が広がり、午前9時に各人が徒歩で松山城がそびえる城山の麓に広がる城山公園に集合しました。

田畑理事長と日本の師範が前に立って、まずは芝生の上での基本20本の稽古からスタートしました。

松山市内中心部にある公園内を通る人たちは、空手着姿の大勢の海外の道場生たちの大きな気合をかけての稽古に遭遇して目を丸くして見入っていました。

1時間ほどの稽古が終わり、標高132メートルの城山を松山城の本丸を目指して険しい登山道を歩き始めた桜を見ながら登りました。

松山城をバックにして集合写真を撮影後、お城の裏側の瀬戸内海が一望できる広場で初中級と上級の、

3つのグループに分かれて型の稽古をくり返し行い、気温が高かったことからかなり汗をかきました。

昼食には花見弁当を配り、分かれて日本の花見を経験してもらう予定でしたが、寒さの影響でまだつぼみが多く残念ながら本格的な花見とはなりませんでしたでしたが楽しい弁当時間になりました。

食事後は松山城に入城して、江戸時代の武士の気分を味わってもらいました。

地元のテレビ局3社が稽古の様子を密着取材してくれ、アナウンサーが海外道場生にインタビューをして、その日のニュースに放映されました。

午後は下山し県武道館にバスで向かい、田畑理事長が講師となつての審判ライセンス取得セミナーと、岡本徹師範の世界チャンピオン組手セミナーに分かれて参加して充実した3日目を終えました。



3月30日(金) セミナー4日目(愛媛国際親善空手道大会)

4日目は愛媛県武道館主道場で「愛媛国際親善大会」を開催し、午前中は型試合、午後は組手試合海外の選手約60人と日本人選手の合計約300人が参加しました。海外の審判が15人参加し国際色豊かな大会となりましたが、別途記事をご覧ください。

3月31日(土) セミナー5日目(国際昇段審査)

セミナー5日目である最終日は「国際昇段審査」を県武道館剣道場で実施しました。

厳かな開会太鼓の合図で開始されて海外29人、日本人5人の合計34人が初段から7段の昇段審査に挑戦し海外の女性12人も含まれます。

前日から40度近い高熱の田畑理事長が、気迫で体調不良を克服して組織トップの理事長自らが極真魂を体現して万全の指揮を取られました。基本20本から始まり、果てしない往復を課した移動、段位に応じた型、そして腹筋運動、背筋運動、スクワット、腕立て伏せ50回の1セット5ラウンドという過酷な補強運動へと審査は進み、最後に段位ごとの数をこなす連続組手となりました。

前日の国際親善大会の組手に出場した選手の多くが、連続組手の相手となり本当に過酷な審査がスタートしました。

7段受審のオーストラリアの師範が怪我のために組手

数を少なく行い、実質最多の数をこなしたのは岡本徹師範とチリのグィクター・コロオ師範の2人でした。

特に岡本師範はさすが元世界チャンピオンであり、50歳を過ぎた年齢にはとても思えない激しい組手を続けて50人後半になっても、国際親善大会で上位入賞をした相手に対して互角以上の闘いを行って見事60人連続組手の完遂を果たしました。

全ての組手が終了して審査員の師範方の協議の結果、田畑理事長から一人一人に合格が告げられ歓喜の声と大きな拍手が沸き上がりました。

最終日はANAホテルで「さよならパーティ」が開催され、セミナーが終った安堵感と少し名残惜しい雰囲気が漂い、各国の人々が壇上に上がってお得意の歌を披露するなど大いに盛り上がり、会場各所で国同士の会話が弾んで国際交流が深まったと感じました。

理事長から国際セミナーの認定証が全員に手渡され、最後に集合写真を撮影して全ての行事が終了したのでした。



国際昇段審査に参加した皆さん



田畑理事長より認定状を受け取る各国の師範



各国の参加者が壇上に上がって歌を披露



さよならパーティー

終わりに

4年前に運営予定であった国際セミナーが、世界に広がったコロナ禍のために直前に突然中止となり本当に残念な気持ちで一杯でした。

しかし、今回こうして世界中から多くの極真空手の仲間が愛媛に集まり、共に稽古したことで絆が深まったことは本当に嬉しく思います。

これからも、極真ファミリーの仲間として親交を深めたいと考えます。

最後に田畑理事長を初め日本中から集まって頂いた師範、先生方、そして何より毎日支えて頂いた戸田道場の師範代、支部長、道場生、道場生の保護者の皆様に心から感謝を申し上げます。



みきゃんも登場。中国チームと記念撮影



2024愛媛国際親善 空手道大会

**親善と友好の交流を深め、
世界平和の実現に向けて**

「春や昔 十五万石の城下かな」と正岡子規に詠まれた俳句の街、愛媛県松山市を中心に行われた愛媛国際セミナー。その行事のひとつとして「2024愛媛国際親善空手道大会」が3月30日（土）、愛媛県武道館主道場にて開催されました。

今大会の趣旨は、大山総裁が唱えた「人種・民族・国境を超え、政治・宗教・思想の垣根を撤廃し、世界人類の平和の実現を目指す。」という極真理念の一端を担うことです。大会参加国は、日本はもとより、カナダ、オーストラリア、ベルギー、ドイツ、スウェーデン、南アフリカ等のいわゆる西側諸国から、旧ソビエト連邦の構成国カザフスタン、そして近隣諸国との衝突が絶えない中国、政情不安定な中東からはイランといった様々な国が一堂に会しました。現在も戦火が繰り広げられる世界情勢ですが、各国から極真空手を修行する道場生が集まり、共に技を競い合い、親善と友好の交流を深め、世界平和の実現に向けた活動ができれば大会は大成功でしょう。

さてこの10ヶ国から型試合に133名、組手試合に164名が参加して熱戦を繰り広げました。海外選手にとっては異国で開催される期待と不安でいっぱいの未知の大会、迎え撃つ日本勢は愛媛戸田道場、香川桑島道場、広島宗政道場から選りすぐりの選手が迎え撃ちます。





一般、壮年クラスの型試合 海外の師範や先生方も多数参戦

また審判員も海外から15名が加わり、流ちょうな日本語で判定を下すなど、国内の大会とはひと味違う雰囲気でした。

午前中は型の試合です。幼年から壮年(50歳以上の部)まで14クラスに分かれて、2人同時に型を演じ始めるトーナメント方式で勝敗が競われました。中学生までは日本人のみでの対戦ですが、近年型のレベルが向上していることもあり、小中学生とは思えない気合いとスピード感溢れる動作で、優劣付けがたい試合が多数見受けられ、審判泣かせの大会となりました。特に小学4年生の部は、決勝戦で戸田道場松山三津支部生同士の男女で争われ、全国トップレベルの決勝戦となりました。

一般、壮年クラスは海外の師範、先生も多数参戦しており、国際色豊かな雰囲気の中試合が行われました。このクラスになると高段者が多く、技に年季が入っており各々が型に魂を込めた動き、姿勢、

目つきで、会場に気合いと道着が擦れる音がこだまする張り詰めた状況が続きました。外国人選手の大きな体を活かしたダイナミックで力強い動きに対し、日本人選手は繊細で正確な動作で対抗します。

一般男子の部(高校生以上)ではドゥマン・バルタベイ選手(カザフスタン)が日本人選手を抑えて優勝。壮年男子Aの部(36歳～49歳)ではウラジミール・ヴィチェンコ選手(カザフスタン)とレネ・ランテーニュ選手(カナダ)の外国人同士の決勝戦となりウラジミール選手が勝利し、おおいに盛り上がりました。

また女子でも一般女子の部(中学生以上)のヴィクトリア・ヴィチェンコ選手(カザフスタン)が準優勝、壮年女子の部A(36歳～49歳)ではラグナ・ヴァースウィベル選手(ベルギー)が準優勝、壮年女子の部B(50歳以上)ではヒロコ・スズキ選手(オーストラリア)が準優勝と大健闘しました。

今回の型試合は小学生から壮年まで過去の全国「型」大会で入賞して

いる選手も多数参加しており、来年1月に行われる第1回全日本型空手道選手権大会の指定大会になっております。

型が終わり少年部の基本演武が元氣よく行われ、続いて行われた少年部から選抜された道場生によるヌンチャク演武には、海外の観客が珍しそうに注目していました。また一般部による型(撃砕小)演武は、一糸乱れぬ華麗で力強い演武が寒作智美三段の号令により行われ、観客を魅了しました。



午後に入り組手試合が開始されると、 それまで静寂を保っていた会場が一気にヒートアップ

午後に入り組手試合が開始されると、それまで静寂を保っていた会場が一気にヒートアップして、セコンドの応援にも一層気合いが入り賑やかになります。

大会当日に一般男子初級の部が、選手の要望により壮年男子(40歳以上)に組み込まれるという親善大会ならではのアクシデントもありましたが、全般的に高レベルな試合が多く、親善大会では有りますが、各国代表の威信をかけた組手試合となりました。





三上汰明選手と元世界大会準優勝者のティムール選手（カザフスタン）

一般男子の部決勝戦は兄弟対決に

小よく大を制す、会場を沸かせた三上汰明選手

今回は全てのクラスで体重が無差別となっており、軽量の選手には厳しいトーナメントでしたが、一般男子上級で準優勝した小兵・三上汰明選手は、2回戦では極真連合杯第4回世界大会準優勝で身長189cm、体重100kgのティムール・ライムベコフ選手(カザフスタン)に優勢勝ち、準決勝戦ではさらに大きな身長197cm、体重119kgのシー・イエカイ選手(中国)と死闘を演じ、身長差約30cm、体重差約40kgのハンディを跳ね返し勝利しました。彼の戦いは敵味方を問わず感動を与え、「小よく大を制す」という極真空手の醍醐味を

観客に存分に堪能させました。決勝戦は兄・三上和久選手との兄弟対決となり、お互いの持ち味を活かしたスピーディな試合運びと高度な技の応酬で見応えある決勝戦でした。

女子の活躍がめざましい海外勢

また海外選手では女子の活躍がめざましく、中国のティン・メイ選手やマ・ヤンチン選手は準決勝に進み、共に日本人選手に負けました彼女たちに代表される中国選手は全員強く活躍しましたが、それ以上に礼儀正しく、正々堂々と戦う姿が印象的でした。

小学生では型と組手両方に出場して入賞した選手が多く、中でも渡部正道選手(小5男子)と小川紗良選手(小4女子)は型・組手共に優勝という輝かしい成績でした。

今回の大会を通して、海外選手、特に女子の活躍には目を見張るものがありました。世界に広がる極真空手が男女を問わず広がっていることは、今後の空手界により影響を与えることでしょう。こうして本大会は桜がつぼみを開きかけた小春日和の夕刻、世界各国の極真空手家たちの友好親善という開催目的を達成して幕を閉じました。

愛媛県戸田道場師範代 濱井敦史

KATA 2024Ehime International Friendship Tournament Results List 2024/3/30				
2024愛媛国際親善空手道大会 型の部結果一覧				
Categories カテゴリー	1st place 優勝	2nd place準優勝	3rd place 第3位	3rd place 第3位
幼年の部	芳野広翔	阿部快飛		
小学1年生の部	日野聖太	濱本稜斗	山本響生	片岡快晴
小学2年生の部	小西奏大	井上蒼士		
小学3年生の部	福田ころこ	吉田藍人	土井瑛介	阿部光真
小学4年生の部	小川紗良	渡部陽道	平池航大	中野太智
小学5年生の部	西森正道	芳野穂佳	東大翔	渡部結衣
小学6年生の部	寒作心	土井湊太	阿部杏香	西野万琴
中学生男子の部	村上晴紀	高瀬壮	東悠樹	村上睦
壮年女子の部 Sonen Women's Division(36-49 years old)	滝平陽子	Ragna Verswyvel (ベルギー)		
壮年男子の部 Sonen Men's Division(36-49 years old)	Vladimir Vitchenko (カザフスタン)	Rene Lanteigne (カナダ)	Timur Raiymbekov (カザフスタン)	Leon Suijkerbuijk (ベルギー)
壮年女子の部 Sonen Women's Division(50 years old and up)	宮崎小織	Hiroko Suzuki (オーストラリア)		
壮年男子の部 Sonen Men's Division(50 years old and up)	濱井敦史	小笠原慎吾	田中英二	Johan Jacobsson (スウェーデン)
一般女子の部 Women's Division	村上咲弥	Viktoria Vitchenko (カザフスタン)	Yanqing Ma (中国)	仙波優佳
一般男子の部 Men's Division	Duman Baltabay (カザフスタン)	二宮快地	志賀賢一	Aidos Suleimenov (カザフスタン)



三上汰明選手、ティムール選手、三上和久選手

KUMITE 2024Ehime International Friendship Tournament Results List 2024/3/30					
2024愛媛国際親善空手道大会 組手の部結果一覧					
Categories カテゴリー	1st place 優勝	2nd place準優勝	3rd place 第3位	3rd place 第3位	Final 8 ベスト 8
幼年の部	阿部快飛	中坂映亮	芳野広翔	保子輝心	
小学1年生の部	高呈源	堀川大心	日野聖太	片岡快晴	井上慶士、渡部煌成、滝野峻太郎、野本月虎
小学2年生の部	石村優晴	百田爽馬	和田鈴奈	中川琉偉	小西奏大、中坂要一朗、秦章輝、峯雪初依
小学3年生の部	浅海琥雅	菅陸人	佐伯蓮都	阿部光真	福田ころこ、土井瑛介、野本朔弥、白岡陸
小学4年生女子の部	小川紗良				
小学4年生男子の部	平池航大	武田禅	伊與田恵士	藤谷樹希也	川端大雅、渡部陽道、山本葵、西濱政希
小学5年生女子の部	福田ゆう	白岡小夏			
小学5年生男子の部	西森正道	佐伯大嘉	兵頭海輝	東大翔	安井祐貴、山口隼輝、近藤悠誠、吉田琥太良
小学6年生女子の部	東原那夏				
小学6年生男子の部	保子凜成	岡田拓真	土井湊太	日野煌太	
中学生女子の部	福田心優				
中学生男子の部	岩城斗也	岡裕人	田邊秀磨	村上晴紀	
壮年男子の部 SONEN Men's Division(40 years old and up)	John Iskra (オーストラリア)	Vladimir Vitchenko (カザフスタン)	Dilom Sharma (オーストラリア)	Dean Hinch (オーストラリア)	
一般女子の部 Women's Division	小山晴渚	高橋きら莉	Yanqing Ma (中国)	Mei Ding (中国)	
一般男子の部 Men's Division	三上和久	三上汰明	桑島康彰	Yekai Shi (中国)	Yulin Ge,Kai Zhang,Timur Raiymbekov,志賀賢一

第2回極真空手全国「型」競技大会

優勝 渡部陽道選手 (小学4年生男子の部)

全国「型」競技大会結果

昨年9月18日(月祝)横浜武道館武道場において「全国型競技大会」が開催され、全国から269人の選手が出場しました。

戸田道場からは5人の選手が大洲大会などの成績により選抜され出場しました。

大会前に所属道場での特別稽古や、戸田師範の指導により複数回に亘り合同強化稽古を行った成果が出て、村上咲弥選手(一般女子 空港通り支部)など全員が予選を通過して決勝に進みました。

その結果、渡部陽道選手(小学4年男子 三津支部)が栄えある優勝、寒作心選手(小学6年男子 本部道場)が第3位に入賞し、昨年準優勝だった寒作智美選手(壮年女子 味酒支部長)と西森正道選手(小学5年生男子 三津支部)は惜しくも第4位となりました。

出場者全員が決勝戦に進むのは全国でも珍しく、令和7年1月に開催予定である初めて他流派の出場がある「第1回全日本型空手道選手権大会」に戸田道場から出場する選手の活躍が期待されます。



第3位 寒作心選手 (小学6年生男子の部)



極真空手全国「型」競技大会

主催・主管 (一社) 国際空手道連盟 極真会館 後援



第10回オープントーナメント 四国選抜空手道選手権大会

会場 愛媛県武道館主道場

開催日 令和5年10月9日（月 祝）

主催 （一社）国際空手道連盟 極真会館愛媛県戸田道場

10回目となる四国選抜大会は連合会の田畑繁理事長、副理事長の小井義和副理事長の出席を得て、東は東京から西は九州まで全国12都府県、45流派から過去最多の約500人の選手の出場を得て開催された。

5月にコロナの感染症状の分類が「5類」に引き下げられたことから、4年ぶりに感染予防対策のない通常の運営となり、また地上波のあいテレビ（TBS系列）の中継が行われ華やかな雰囲気の中で行われた。

壮年の部軽中量級、同重量級、一般女子、一般男子の出場者には、全日本大会や世界大会の出場者など強豪選手が多数出場しており、誰が優勝してもおかしくなく熱戦が期待された。

その中の最初に行われた男子壮年輕中量級の決勝戦は、8月に行われた極真中村道場主催の全日

本大会壮年部(45歳～49歳)で優勝した山下学と、統一極真全日本大会シニア（40～47歳）軽量級で第3位に入賞した保子圭の戸田道場同門同士対決となった。本戦でお互い激しい突き、蹴りの攻防が見られてほぼ互角と思われたが、終盤に入り山下のラッシュに対し保子は劣勢となり、旗判定は4-1で山下に上がった。

さらに同重量級の決勝戦では第5回連合杯世界大会出場の松本洋三と第4回連合杯世界大会ベスト16の神原敏行のこれまた戸田道場同士の対決となった。長く一般上級の舞台で戦ってきた経験豊富な神原は、ステップを駆使しながら突き、インロー、上段廻し蹴りを繰り出して圧倒、対する松本は経験不足の感が否めず、防御に終わられて技に精彩を欠き5-0の判定で神原が優勝を勝ち取った。



続く一般女子決勝戦は、各種大会で活躍している佐伯姫夏（国際如水）と第5回連合杯世界大会の女子無差別第4位入賞の川村咲笑（極真神奈川井上道場）の対戦となった。本戦では、小柄な川村の中に入っ
ての得意の突き連打、佐伯は前蹴りやインローなど蹴りを駆使しての接戦となり、判定は川村に旗1本のみ上がり引き分けとなった。延長戦に入ってから、川村の大きく振りかざした威力ある胸への突きなどの連打で、蹴りで対抗する佐伯を圧倒し4－1の判定で初優勝を成し遂げた。

全ての試合の最終戦となったのは、過去新極真会の四国大会を3連覇している極真戸田道場の三上和久と、グランドチャンピオン大会を長期に亘って連覇し、先般の京都大会一般男子でも優勝した極真関西総本部所属の若干17歳の高校生原田将栄の戦いとなった。

三上は1回戦で川村嵐（極真神奈川井上道場）を判定で退けた上、準決勝戦で本大会2連覇を果たした松井弥陸（極真戸田道場）との対戦となる。松井は連合会ウェイト制進めた。軽量級第3位の実力者であるが、その反応力でのカウンターをものともせず圧倒し本戦5－0で勝利し、2人の強豪選手を退けて決勝戦に駒を



原田は1回戦で得意の下段廻し蹴りで一本勝ちし、さらに準決勝では1回戦で連合会ウェイト制中量級第3位の川村風矢（極真神奈川井上道場）に判定勝ちして上がってきた三上汰明（極真戸田道場）を延長戦で前蹴りを効果的に使い判定で破り決勝の舞台に進んだ。

決勝戦で原田は三上の威力ある中段蹴りを初め、各種の突きや蹴りやをよく防ぎ、途中顔面殴打を受けたものの冷静に戦い続けて、大柄な身体から繰り出す威力ある突き蹴りの手数が上回り3－0の本戦判定で初優勝を飾った。

原田は、高校生には思えない風格のある組手を繰り広げ、これからの活躍が大いに期待される。



なお、一般男子の原田将栄には愛媛県知事賞、一般女子の河村咲笑には愛媛県議会議長賞、壮年軽中量級の山下学には松山市長賞、同重量級の神原敏行には松山市議会議長賞がそれぞれの優勝者に与えられた。

また、高校男子優勝者の西山隆賢（極真桑島道場）には愛媛県教育長賞が、中学2、3年男子優勝の高岡日向（悠心道場）と小学3年生男子優勝の川村雷矢（極真神奈川井上道場）には松山市教育長賞がその活躍に対して贈られた。



第10回オープントーナメント四国選抜空手道選手権大会結果一覧

カテゴリー名	優勝		準優勝		3位		3位	
幼年の部	西岡央祐	河野道場	山本榎那大	道真会館	保子輝心	極真愛媛	菊池想	悠心道場
小学1年生女子の部	浅野陽菜	白蓮羽曳野	岩本琉杏	道真会館				
小学1年生男子の部	庄籠大空	圓慧會	里井浩亮	道真会館	岡崎星那	無門塾	三宅健心	敬心館
小学2年生女子の部	石川一花	悠心道場	向井姫菜	道真会館				
小学2年生男子の部	中川遙己	国際如水	石村優晴	極真愛媛				
小学3年生女子の部	横井凜花	正道KCIEL	高橋凜花	極真愛媛	岩本愛琉	道真会館	加藤柚果	正道KCIEL
小学3年生男子の部	川村雷矢	極真神奈川	森本倫太郎	正道KCIEL	長井元汰	志長會	別府聖輝	無門塾
小学4年生女子の部	三宅梨心	敬心館	谷口蘭	新極真会高知三好道場	大西悠蘭	国際如水	田中小暖	国際如水
小学4年生男子の部軽量級	石川稀隆	正道KCIEL	星川琥太郎	正道KCIEL	守屋汰心	至道会館	山本葵	極真広島
小学4年生男子の部重量級	荒木一虎	至道会館	大塚天斗	悠心道場	松田久優雅	白蓮奈良	桑原航大	河野道場
小学5年生女子の部	杉本颯梨	正道KCIEL	長井柚樹	志長會	吉村妃	福田道場	箱田実和	志琉会
小学5年生男子の部軽量級	首藤成太郎	正道KCIEL	内田翔真	極真宮崎	近藤龍太郎	正道KCIEL	西森正道	極真愛媛
小学5年生男子の部重量級	篠崎稜斗	道真会館	宮内椰帆	日本如水	高市梁介	煌友會	芥川團	極真愛媛
小学6年生女子の部	高見芽生	至道会館	藤原汐杏	白蓮東大阪北	三原奈央	道真会館	井本心絆	道真会館
小学6年生男子の部軽量級	大西泉綺	敬心館	信木櫻之介	福田道場	杉本彪真	正道KCIEL	芳野翔琉	極真愛媛
小学6年生男子の部重量級	保子凜成	極真愛媛	岡田拓真	極真愛媛				
中学1年生女子の部	瀬戸丸遥	敬心館	川村香笑	極真神奈川				
中学1年生男子の部軽量級	高瀬壮	極真愛媛	川波颯介	新極真会高知三好道場	濱田心音	日本如水	岩城斗也	極真愛媛
中学1年生男子の部重量級	岡裕人	極真愛媛	吉村雄心	福田道場				
中学2・3年生女子の部	神原杏菜	極真愛媛	松岡心桜	国際如水				
中学2・3年生男子の部軽量級	高岡日向	悠心道場	高木悠生	国際如水	井手晴人	道真会館	村上晴紀	極真愛媛
中学2・3年生男子の部重量級	北光希	極真愛媛	西山歩輝	極真香川				
高校生女子の部	高橋さら莉	極真香川						
高校生男子の部	西山隆賢	極真香川	徳井優太	極真香川				
壮年男子の部軽中量級	山下学	極真愛媛	保子圭	極真愛媛	白石将博	極真愛媛	濱田直樹	拳武道会館
壮年男子の部重量級	神原敏行	極真愛媛	松木洋三	極真愛媛				
一般女子の部	川村咲笑	極真神奈川	佐伯姫夏	国際如水				
一般男子の部	原田将栄	極真関西	三上和久	極真愛媛	三上汰明	極真愛媛	松井弥陸	極真愛媛
小学2年生女子ファースト	越智葵彩	河野道場	福富葵	大心会館				
小学2年生男子ファースト	中川幹太	極真香川	桑原瑛慈	志成館	宮本寿輝	道真会館	高岡真生	正道四国本部
小学3年生女子ファースト	高橋真央	武道塾						
小学3年生男子ファースト	白岡陸	極真愛媛	土井瑛介	極真愛媛	井本耀慥	道真会館	藤田陸叶	極真愛媛
小学4年生女子ファースト	都能葵	至道会館	野本明那	極真愛媛				
小学4年生男子ファースト	彈正原瑛仁	悠心道場	藤谷樹希也	極真広島	橘川宗司	正道四国本部	青木千陽哉	志琉会
小学5年生男子ファースト	佐々木大輔	拳武道会館	西村尚弥	悠心道場	清水陵介	悠心道場	宮崎悠一郎	極真愛媛
小学6年生男子ファースト	多田悠臣	国際如水	緒方政斗	悠心道場				
中学生女子ファースト	廣澤一世莉	正道四国本部	守谷愛美	極真愛媛				
中学1年生男子ファースト	Pletzer Adam	国際如水	久行颯馬	極真広島				
中学2・3年生男子ファースト	清家陽太	吉村道場	武田一輝	正道四国本部				
高校生男子ファースト	秦友輝	極真愛媛						
一般女子ファースト	藤原優良	極真香川	Placsik Zsolia	国際如水				
一般男子ファースト	山内裕一	悠心道場	安丸幸希	極真愛媛				
壮年男子ファースト	西岡賢二	正道四国本部	藤田哲也	玄制流岡山				
小学2年生女子セカンド	景山桃羽	至道会館						
小学2年生男子セカンド	中川琉偉	極真愛媛	山口琉斗	新極真会高知三好道場				
小学3年生女子セカンド	白石愛実	河野道場						
小学3年生男子セカンド	西村怜	日本如水	三原廣季	道真会館	高山蓮士	新極真会高知三好道場	森本湊	国際如水
小学4年生女子セカンド	山口愛梨	中元会館	浅野心結	国際如水				
小学4年生男子セカンド	橋田侑維人	悠心道場	木村彪牙	悠心道場	古江理人	極真愛媛	伊與田恵士	極真愛媛
小学5年生女子セカンド	坂田明音	悠心道場						
小学5年生男子セカンド	大森海琉	新極真会愛媛三好道場	和氣鷹介	悠心道場	石丸遥煌	極真愛媛	高橋拓真	極真愛媛
小学6年生男子セカンド	飯谷春輝	新極真会高知三好道場	八木優磨	極真愛媛	瀧宮藏人	極真愛媛	戸田悠仁	極真愛媛
中学1年生男子セカンド	清家伶王	正道四国本部	大滝晃平	極真愛媛				
中学生女子セカンド	森藤実結	河野道場	石丸樹里	悠心道場				
中学2・3年生男子セカンド	白形優吏	新極真会愛媛三好道場	清水航一郎	極真愛媛				
高校生男子セカンド	廣瀬励至	吉村道場						
一般男子セカンド	黒光桜樹	拳武道会館	伊藤瑞樹	拳剛会館				
特別賞	氏名	流派名						
愛媛県知事賞	原田将栄	極真関西						
愛媛県議会議長賞	川村咲笑	極真神奈川						
松山市長賞	山下学	極真愛媛						
松山市議会議長賞	神原敏行	極真愛媛						
愛媛県教育長賞	西山隆賢	極真香川						
松山市教育長賞	高岡日向	悠心道場						
松山市教育長賞	川村雷矢	極真神奈川						



強豪 列伝

組手・型競技共に全国大会出場

西森正道選手

(松山三津支部)

グランドチャンピオン決定戦出場。これを目標に稽古に励み、今年、やっとその舞台に立つ夢が叶った。これまで何度も挑戦したが、出場権獲得に至らなかった。

しかし、戸田師範から、「もっと、勝つという気持ちを前に出すように」とのアドバイスをいただいたことがきっかけで勝利を修めるようになり、昨年の香川県大会で優勝、念願の出場権を得た。

彼の稽古に対する姿勢は、素直に指導を受け入れて忠実に守り、また道場の稽古以外に、本部の強化稽古や出稽古に参加するなど、どん欲に技術を磨いてきた。決して自らアピールする性格ではないが、細身の身体の中に秘めたる闘志は、誰にも負けない。

今回のグランドチャンピオン決定戦で、入賞を目標に、今まで培ってきた成果を、遺憾なく発揮してほしい。

実は、彼は第1回全国型大会で3位に入賞、来年1月横浜で開催予定の全日本型大会への出場権も獲得するなど、組手と型の両方ともに実力のある、いわば二刀流選手である。

今後も全国大会での入賞目指して、スケールの大きい選手に育ってほしい。



第2回オープントーナメント 全日本極真空手道選手権大会

志賀賢一選手

優勝

神原敏行選手

準優勝

保子圭選手

第3位



令和6年4月21日（日）に東京都調布市 武蔵野の森総合スポーツプラザにおいて「第2回全日本極真空手道選手権大会」が開催された。

本大会は30年前に極真空手創始者である大山倍達総裁が亡くなり、その後分裂、分派が著しかったことから、（一社）極真会館（田畑繁理事長）が主体となって大山総裁存命中の支部長16人が所属する9団体536道場が大会開催の趣旨に賛同し、昨年、統一大会として他流派を入れて第1回大会が開催された。

戸田師範の働きかけにより、愛媛県の塩崎彰久衆議院議員（厚生大臣政務官）が大会会長に就任して頂いている。

全国と海外9カ国から各クラスに計209人の選手が出場し、戸田道場からは一般部（無差別）に三上汰明選手（本部）、シニアに神原敏行（今治支部長）、山下学（今治）、丹下英人（県警）、志賀賢一（西条支部長）松木洋三（上部）、保子圭（上部 現横浜加藤道場）の7人の参戦があった。



一般部出場の三上汰明選手は1回戦圧勝したものの、2回戦は第3位に入賞した高寺海翔選手（晃哲會）と当たり本戦引き分けで延長戦となり、僅差で判定負けとなった。

また、春に横浜に転勤となり横浜加藤道場所所属となった保子圭選手はシニア（40歳～47歳 軽量級）に出場し1, 2回戦を勝ち上がったものの準決勝戦で三ヶ嶋文英（武道空手練）に判定負けとなったものの見事に第3位に入賞を果たした。

志賀支部長と神原支部長はシニア（40歳～47歳 重量級）に出場し、2人とも素晴らしい戦いで結手戦まで勝ち上がって同門対決となり、志賀支部長が本戦で判定により優勝の栄冠を勝ち取った。

後日2人は、8月1日にカザフスタンの首都アスタナで開催される「第1回アジア空手道選手権大会大会」に日本代表として出場することが決定した。

他の4人の選手は残念ながら序盤で敗退し来年の奮起が期待される。

大会体験記

志賀賢一(40～47歳男子重量級優勝)

4月21日、武蔵森総合スポーツプラザにて第2回極真会館統一全日本大会が行われました。

私は40～47歳重量級の部に出場し優勝することができました。

一回戦は全極真の八牟禮選手との試合で突きと下段で終始前に出て判定5-0で勝ち、2回戦も全極真の伊藤選手に同じ展開で勝利しました。

準決勝は優至会の塚本選手と3度めの試合で、以前よりもパワーがあり下がらず強烈な右の下段回し蹴りで足を効かされましたが、戸田師範、皆様の応援のおかげで判定4-1で勝つことができました。

また反対のブロックで神原支部長が厳しい試合を勝ち上がってきており、絶対に負けられない思いでした。

決勝は神原支部長との同門対決で、お互い持てる力を全て出し切り戸田道場の強さを全国の極真、他流派の方に見て頂くことができたのではないかと思います。

一般部ではかなわなかった優勝を壮年部とはいえこの大舞台でつかむことができ万感の思いです。戸田師範にも大変喜んで頂いて少しですが恩返しのできたのではないかと存じます。

今後も世界大会で優勝をできる様選手として邁進し、指導者としても同じように全日本で優勝する選手を育成できる様に尽力致します。押忍。

志賀賢一



インドセミナー

～ベンガル湾沿いリゾート地で開催～

戸田師範指導者として派遣



インド極真会館により作成されたセミナー開催告知のポスター



コルカタ空港ではサマナス師範とアブジット先生が花束を持って出迎えてくれた



小井師範、戸田師範を囲んで集合写真

インドへの長き旅路

(一社) 極真会館のインド道場から1月19日から21日まで行われるウィンターセミナーの指導依頼に応じて、小井義和師範(極真会館副理事長)と私(戸田)の二人が向かいました。このセミナーはインドの東端に所在する西ベンガル州の首都、人口1400万人を超える大都市コルカタ(旧称カルカッタ)の周辺で行われました。

私にとっては未知の国インドであり、不安と期待が交錯していましたが、海外指導に何度も行かれている小井師範と一緒にあり心強さがありました。

1月18日(木)正午頃に成田空港を飛び立ち、タイのバンコクスワンブーム空港を経由してコルカタ空港には19日(金)午前3時頃に到着しました。空港にはコルカタで道場を構えるサマナスデイ先生とアブジットシール先生の2人が出迎えてくれました。そこから更に東に150キロ程離れた、セミナー開催場所であるベンガル湾沿いのリゾート地、プルバメナドボルという街に車で向かい到着したのは日本から実に20時間以上が過ぎた頃でした。

セミナー開始・ウェルカムパーティ

少し仮眠を取って午後には近くのホテルの広いフロアでセミナーを開始しましたが、コルカタからの道場生180人ほどが集まっていました。日本では子供が多いのに比べて圧倒的に若者、特に女性が多く、さすが人口が世界一の若者主体の国であると少しうらやましく思われました。

小井師範が基本、移動をかなり多めにして指導をされ、私は日本から来た空手家として見本になるよう、大きな気合を出して気迫一杯に技を繰り出しました。約2時間の濃厚な稽古が終わり、夕方からは同じホテルで「ウェルカムパーティ」を一般部や少年部、保護者の方々が開催していただき、食事を取りながらインドの伝統的な踊りや歌を披露してくれました。ヒンズー教ではお酒は飲めず、牛肉、豚肉は食べることはできず、鶏肉や野菜中心のカレー料理を美味しくいただきました。皆さんが心から私たちを歓迎してくれ、大人だけではなく小さな子供たちが一生懸命踊ったり、歌ったりする姿を微笑ましく大変嬉しく思いました。



ベンガル湾を望む遊園地での野外稽古

翌日20日の午前中は、私がホテル近くのベンガル湾の雄大な眺めを一望できる遊園地にある小高い芝生の広場で型の指導を行いました。型の3要素をつたない英語で説明して、裸足で太極Ⅰから平安Ⅴまでゆっくり丁寧に行いました。皆さんしっかりと行えていて、海外に行く度に日本と基本や移動、型など同じ稽古をしていることに感動さえ覚えました。何より、号令や技の名前など空手に関して全て日本語で通じることから、改めて世界の隅々まで極真空手を広められた大山倍達総裁の偉大さを感じました。

午後は審判講習会を実施した後に、明日の昇段審査に備えて難易度の高い型である臥龍や五十四歩などを完璧にできる迄くり返し指導しました。



野外稽古で型の指導



昇段審査受審者の皆さんと



サポーター装着無しで40人組手を完遂したアブジット先生(右)

国際昇段審査・さよならパーティ

セミナー最終日となる21日の朝稽古は、小井師範が突きのコンビネーションと受け返し自ら見本を示して迫力ある指導をされました。

その後、今回のセミナー最大のイベントである昇段審査を10時30分から開始したのです。セミナーの主催者であるサムナス デイ先生が5段、アブジット セイル先生が4段を受審し、3段に男性1人初段に男性1人、女性3人の合計7人が受審しました。私が号令をかけて基本、移動そして型に移り、体力の補充は腹筋運動、がスクワット、腕立て伏せをそれぞれ50回ずつ5セット実施し、全員苦悩の表情を浮かべながら何とかやり遂げました。終わって休む間もなく、最後の受審種目である組手がスタートしました。

相手は黒帯の道場生ですが、インドでは拳サポーターや足サポーターは全く装着せずに行いますので、帯の回数を行うのはかなり厳しいことです。サムナス デイ先生も、アブジット セイル先生を含めて7人全員が連続組手をやり遂げたのです。

終了後しばらくの時間、私と小井師範で採点表をチェックしながら可否を検討した後、小井師範が一人一人に合格の通知を告げたのでした。受審者は歓喜の表情を浮かべ、中には涙を流す者もいて周囲からは一ねぎらいと祝福の歓声と大きな拍手が鳴りやみませんでした。

夜になるとホテル横の広場でキャンプファイヤーを囲み、現地の言葉での道場訓の唱和や突きを行い我々2人と共に団結を誓いあった後、ホテル内の「さよならパーティ」に移行して、食事をしながら楽器演奏やダンスを見せていただき、最後には大勢の参加者によるダンスパーティと化し、私たち2人もダンスの渦に巻き込まれて踊ったためか皆さんの興奮は最高潮となりました。

別離の時

翌22日は午前中にコルカタに向かい、豪華なホテルでサムナス デイ先生のご家族とアブジット セイル先生と一緒に夕食をご馳走になりました。その夜、コルカタ空港内に入るまで共に手を振り続けて別れを惜しみ、日本に向け帰国の途に就いたのでした。

ほんの短い間でしたが、共に極真空手を修行する者同士深い絆ができたのでした。

全国大会入賞者 戦いに向けての思いと決意 大会 体験 記

第2回極真空手全国「型」競技大会 優勝 渡部陽道選手(小4年男子の部)

初めての全国大会に出場して

松山三津支部 渡部 陽道

ぼくは、五歳のとき、戸田道場三津支部に入門しました。道場の先輩たちが型をしているのを見て、「かっこいいな」と思い、型が好きになりました。ぼくにとって型の魅力はキレとかっこ良さです。相手がいるつもりで演じることを稽古で教わり、型をするときはいつも意識しています。

昨年、道場の先輩が全国型大会で三位に入賞したので、ぼくも「いつか全国大会に行けたらいいな」と思っていたのです。それで、今回出場でき、とても嬉しかったです。

全国大会出場が決まってからは、道場での普段の稽古が終わった後、残って毎回型の練習をしました。細かい所を直すのが難しかったりしたけど、師範代がいろいろ教えてくれたので一生懸命がんばって練習しました。直すように教えてもらった所は、「忘れないようにしよう」と、帰ってからも稽古して修正し、大会

前には戸田師範からもご指導を受け、教えてもらったことを忘れないようノートに書きました。道場のみんなからも応援してもらい、「よし、がんばるぞ」という気持ちで大会に臨みました。

大会当日、会場に入るとたくさんの選手がいて少し不安になったけど、「勝てる、大丈夫」と心の中で言い聞かせて試合をしました。自分の名前を呼ばれてコートに入る時、声をしっかり出して勇気をもっていどみました。予選を通過して、決勝トーナメントを勝ち上がりましたが、最後の決勝の時、「これで最後だから全力でしょう」と思い、力一杯演じました。審判の旗があがり、勝ったことが分かった時は、まさか優勝できるとは思わなかったので、とっても嬉しかったです。

今回、全国大会に出場して、「無理かなと思っても、夢を持ってがんばっていれば、夢は叶う」ということがわかりました。何事もあきらめずにがんばっていきます。そして、来年もまた全国大会に出場して、入賞できるように稽古していきます。

第28回全日本少年少女空手道選手権大会 オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦

第3位 小澤叶夢選手 (高校一年生男子軽量級の部)

自分と言葉の力を信じて

西条支部 小澤 叶夢

今回のグラチャンは何故だかわかりませんが、かなりリラックスしていました。自信も確信も無かったけどその朝、両親に「ベスト4に入りたい」と伝えました。

相手は他流派の強豪ばかりでしたが、華麗ではないけれど僕らしい前に出る組手でなんとか勝ち上がる事ができ両親に約束したベスト4入賞を叶える事ができました。

思い返すと、僕は叶えたい心の声を口に出してきました。

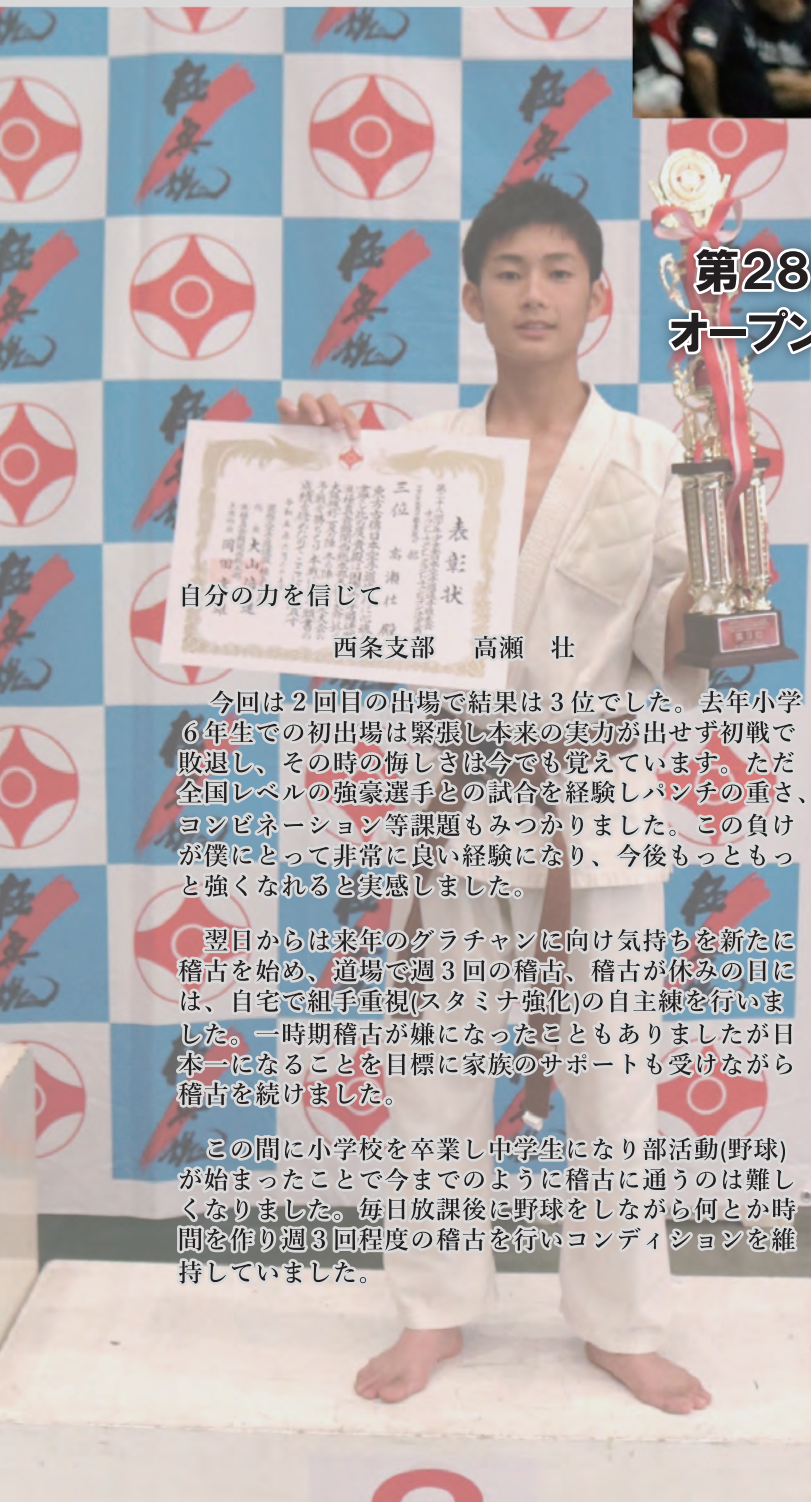
空手を始めた頃から小学6年生まで「僕は強い・僕は負けん・僕は絶対に勝つ」と毎晩、両親に言っていたから寝ていました。この言葉は、体が小さく試合でなかなか勝てなかった僕の自信となり、力になってくれま

した。もちろん言葉にするだけではなく、強くなりたくて一生懸命、練習もしました。試合にもたくさん出ました。言葉にする事で具体的に自分がなりたい姿を想像する事ができ、目標が明確になったような気がします。

日本には古代より「言霊」と言われる言葉があります。皆さん、叶えたい心の声はありますか。誰かに伝えてみてはどうですか。きっと自信や叶えたい夢につながるはずですよ。

現在僕の1番の目標は黒帯。ここで宣言します「黒帯取得します」必ず叶えます。

最後にいつもどんな時も応援してくれた仲間や保護者の方々、アドバイスしてくださった先輩方、練習に付き合い見守って下さった先生方、そしてこの機会を与えてくださった戸田師範。僕にたくさんの力を与えてくださり、ありがとうございました。心から感謝いたします。押忍。



第28回全日本少年少女空手道選手権大会 オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦

第3位 高瀬壮選手 (中学一年生男子軽量級の部)

自分の力を信じて

西条支部 高瀬 壮

今回は2回目の出場で結果は3位でした。去年小学6年生での初出場は緊張し本来の実力が出せず初戦で敗退し、その時の悔しさは今でも覚えています。ただ全国レベルの強豪選手との試合を経験しパンチの重さ、コンビネーション等課題もみつかりました。この負けが僕にとって非常に良い経験になり、今後もっともっと強くなれると実感しました。

翌日から来年のグラチャンに向け気持ちを新たに稽古を始め、道場で週3回の稽古、稽古が休みの日には、自宅で組手重視(スタミナ強化)の自主練を行いました。一時期稽古が嫌になったこともありましたが日本一になることを目標に家族のサポートも受けながら稽古を続けました。

この間に小学校を卒業し中学生になり部活動(野球)が始まったことで今までのように稽古に通うのは難しくなりました。毎日放課後に野球をしながら何とか時間を作り週3回程度の稽古を行いコンディションを維持していました。

そしてグラチャン当日今回2回目の出場になりこれまでの稽古の成果をワクワクと、本来の実力が出せなかったらどうしようという不安と半分半分でした。

初戦が始まり緊張のあまり前半は動きが悪く相手に押されてしまいましたが、途中から下段回し蹴りが効き判定勝ちを収めました。グラチャン初勝利で嬉しかったのですが直ぐに2回戦に向けて気持ちを切り替えました。

2回戦では上段前蹴りで技有りを奪い勝利。

3回戦では相手の圧力に押されそうになりましたが、最後まで諦めず手数を出し延長の末判定勝ち。準決勝では相手のパンチに押され延長で負けてしまいました。決勝戦に進めなかったのは悔しかったのですが全国3位という結果は凄く自信になりました。

来年こそは優勝し日本一になれるように日々努力していきます。応援してくださった戸田師範、先生方、戸田道場の皆様ありがとうございました。押忍。

兄弟道場生特集

戸田道場では兄弟で稽古に励んでいる道場生がたくさんいます。それぞれの目標や目的は様々です。今回は極真空手を始めたきっかけや、思いを聞いてみました。

松山
潮見本部

「目指せ最強兄弟」

高橋瑛徳、凜花

僕は、年少の時に空手を始めました。始めた当初はダラダラしたりして師範や先輩方によく叱られていました。一年生の時、先輩たちのワッペンと革グローブを見て「カッコいい!!」と思い、僕も欲しくて頑張る決意をしました。

練習を一生懸命頑張り、大会にもたくさん出るようにもなりました。試合に出た最初の頃は緊張したり、怖いと思う事もあったけど今では、地元のライバルや、全国区の強豪との試合を楽しむ事が出来ています。

ケガをしたり、負けて悔しい思いもしたけど努力は報われると実感しています。

妹の凜花も一生懸命頑張ってます。女の子とは思えないくらい強気なのでメキメキと強くなっています。いつまでも強い兄でいられるように僕も負けずに頑張ろうと思います。

今の目標は兄妹そろってグラチャン入賞
気合をいれて頑張ります!!

【瑛徳】

私が空手を始めたのは、年中の時で、兄のたくさんのトロフィーを見て私も欲しい!!と思い始めました。

でもコロナであまり練習ができず、大会に出ても勝つことができませんでした。とても悔しかったので、家で兄と練習することに決めました。兄はとても強くて、アドバイスもいろいろしてくれます。時々意地悪なこともするけど、そのおかげで私は強くなっているんだと思います。

今年も兄妹そろってグランドチャンピオンシップに出れるので、大きなトロフィーを持って帰れるように頑張ります!!!!

【凜花】

松山
味酒支部

「空手の好きなのところ」

松本朱華、松本藍希

私は空手を始めた頃は組手が怖くて痛くて毎回泣きながら帰っていました。

稽古の時に立てる目標もいつも『泣かない』でした。

初めての組手の試合で優勝できたことで自信が付き、稽古を重ねていく中で心身ともに強くなったと感じています。

今ではライバルもでき、その子に勝つ事を目標に稽古を頑張っています。（朱華）

僕は空手で好きなのところが2つあります。

1つは、組手で勝った時です！凄くうれしい気持ちと自分に自信がつくので、次も勝てるために稽古を頑張ろうと思います。

2つ目は、友達が出来ることです。道場や、合宿、合同稽古などでたくさんの友達ができました。ライバルでもあり、切磋琢磨しあえる仲間です。

稽古がつらい時もあるけど、楽しい事もたくさんあるので空手を始めて良かったです。（藍希）

姉弟で空手を始めて3年になります。

礼節や空手を通して強い心や感謝する心を学んでほしくて体験に連れで行ったのが始まりでした。

試合や合宿、稽古を通して沢山の経験をさせてもらい、親としても2人の姿から沢山の成長を見させてもらっています。

またそれを支えてくださっている先生方、仲間には本当に感謝しております。

今後も楽しく空手を続けられるよう頑張る子どもたちをサポートして行けたらと思います。



「負けるよりマシ」

野本朔弥、龍新、月虎

松山
鷹子支部

「空手をやってみないか？」とお父さんに言われて小学二年生の時に家族みんなで見学に行き、極真空手を初めて見ました。強くてカッコイイと思い双子の弟と一緒に空手を始めました。最初は全然分からず、組手も弱くて、基本稽古も、移動稽古も、型もなかなか覚えられずにいました。先生にいっぱい教えてもらい、家で動画を見てお父さんと一緒に練習をしていくうちに楽しくなってきました。昇級審査も家でたくさん練習して帯の色が変わった時にすごく嬉しかったです。だけど組手の練習は痛くて疲れるので、組手の練習がすごく嫌でした。初めて出場したカシエル大会で何もできずに、1回戦で負けてしまい悔しくて泣いてしまいました。それから、嫌な事をしないと強くなれないとお父さんに言われて本気で組手の練習をして泣いてしまうこともありましたが、試合で「負けるよりマシ」と思いながら練習をして、入賞することができました。それから組手の練習が好きになりました。次はもっと練習をして優勝をしたいです。（朔弥）

試合で優勝できるように神原先生とお父さんと兄弟といっぱい練習をしたいです。あと黒帯になれるように基本と型も頑張りたいです。（龍新）

僕が空手を始めたのは、昔のお父さんの空手の試合をみてカッコイイと思ってやりました。練習をもっとして優勝して黒帯になりたいです。（月虎）



松山
空港通支部

「共に成長」

戸田悠仁、一颯

弟の一颯(いぶき)です。僕は小さい頃、戦隊ヒーローに憧れ戦いごっこが大好きでした。兄の空手を見て「自分も強くなりたい!」と思ったのがきっかけです。

稽古は想像よりも厳しくて痛くて泣いてばかりでしたが、兄や家族に励まされながら稽古を続けると試合で勝てるようになり、空手が楽しくなりました。

今はサッカーでゴールキーパーに憧れ、サッカーも頑張っています。空手の教えや経験がゴールキーパーにも役立っていて、空手をやっていて良かったと思います。

これからも空手を続け、兄弟や仲間と一緒に頑張っていきたいです。

兄の悠仁(ゆうと)です。僕は精神を鍛えるために空手を始めました。最初は組み手が苦手で、練習に行くのが億劫でした。

僕が二年生の頃、弟も空手を始めました。弟にもかっこいいところを見せたくて、真剣に練習に取り組むようになりましたが、弟は組手で入賞し、僕は思うような成績を収めることができませんでした。それがすごく悔しくて、弟が喜んでいる姿を見るとますます悔しく感じました。杉野師範代や先輩方の指導を受けながら、経験を積んで少しずつ勝つことができ、入賞することもできました。

兄弟でお互いの良いところ、悪いところを見つけ合い、助け合って共に成長できることを強く感じました。お互いを高め合って一緒に強くなっていきたいです。これからは自分より強い相手にたくさん挑戦し勝ちたいです。



「兄弟で強くなりしたい」

奥藤政信、奥藤大樹

松山
味生支部

兄の政信です。入門して2年になります。

入門した理由は、弟が空手をしたいと言ったので、一緒に見学したのですが、そのとき道場のみんなが強く見え、弟と一緒に強くなろうと思い、入門しました。

以前から、弟と一緒に習い事をしたいと思っていたので、一緒に入門したのですが、2人で技の練習をしたりできるので、2人で強くなりたと思っています。

稽古で師範代に指摘されたことを直して褒めてもらえたときはうれしかったです。

これからも、休まず稽古して、試合に出て入賞できるよう、弟と一緒に頑張りたいです。(政信)

弟の大樹です。

ぼくが幼稚園のとき、友だちが空手をやっていたので、

ぼくも空手をやりたいと思っていて、小学1年になって入門しました。

お兄ちゃんと一緒に入門したのですが、一緒に稽古できるので心強いし楽しいです。

ぼくは、どちらかと言うと、型より組手の方が得意なので、型も上手になりたいです。

稽古で教えてもらっていることをできるようになって、もっと強くなって、いろいろな大会に出て盾やメダルを取れるように頑張りたいです。(大樹)



松山
三津支部

「3人で入賞めざして」

阿部杏香、光真、快飛

私は入門して7年になります。
祖父が師範代をしている空手道へ体験に行き、かっこいいなと思ったので入門しました。入門時は、道場生が4人しかおらず続けられるか不安でしたが、今まで続けることができました。
弟達も入門しましたが、アドバイスしあうことによって自分も成長できるし、相手の為にもなるのでよかったです。ただ、弟達が入賞してトロフィーをもらっているのに自分だけもらえない時は嫌です。

これからも、空手を続けて黒帯取得を目指したいです。

(杏香)

僕は入門して5年になります。姉がもらったトロフィーに憧れて入門しました。最初は集中力が続かずよく注意されていましたが、今はだいぶ集中できるようになりました。

姉弟3人でトロフィーをとるという目標が叶ったのでうれしいです。しかし、稽古の時自分ではきちんとできていると思っているのに、姉弟に指摘されるのはちょっと嫌です。

今後の目標は、トロフィーをたくさんとり、全国大会出場と、強化選手に入り活躍したいです。(光真)

僕は、入門して約1年半になります。姉と兄が空手をしている姿を見てカッコよかったので入門しました。
最初は、夜遅くて眠くなったり、スパーリングの時に痛くて辛かったりしたけれど、少しずつ慣れてきました。姉兄と3人で入門しているので、試合の時にアドバイスをくれるのがうれしいです。おかげで親善試合で初めて優勝することができました。ただ、型の練習の時にできてないところを、姉兄に言われるときは、嫌な気持ちになります。

今後の目標は、師範代である祖父の弱点をみつけてやっつけることです。(快飛)



「これからも頑張りたい！」

浅海愛夢・浅海琥雅

新居浜
上部支部

私は小学2年生から空手を始め、今年で6年目になります。
小学校低学年の間は男女混合だったため、強い男の子と試合したときはすごく痛くて、試合も出たくないと言ったり、やめたくなったりする事もありました。

でも試合に勝ったときの喜びはもっと大きいことを知りました。そして優勝したときや、強化選手に選ばれたとき、帯の色が上がったときは嬉しく感じ、濱井先生や先輩達から、「今の良かったよ！強くなったね！」という声かけは自信とやる気に繋がります。後輩へ教えてあげた型ができるようになったとき、喜んでいる顔を見たら私も嬉しくなります。今振り返ると、あのときやめずに頑張ってきて良かったなと思います。

これからも道場のみんなとやる気のある稽古を続けられるよう頑張りたいです。(愛夢)

僕は年中から空手を始めました。

習い事は空手しかしたことなくて学校と空手の毎日だけど、空手を通して友達ができたり、しんどいけど今日はどんなことするのだろうと思ったりして、毎回違う稽古が楽しいです。

小学生になってから前みたいに技取りが取れなくて、相手もどんどん強くなって、試合で負けては、いっぱい悔しい思いをしたけど、国際親善大会では久しぶりに優勝できてとても嬉しかったです。道場訓もみんなの前で言えるようになりました。

これからも練習を頑張って全国大会に行ってみたいです。(琥雅)



新居浜
川西支部

「夢は兄弟で全国大会出場」

井上蒼士・井上慶士

僕たちは空手を始めて2年が経ちました。空手を始めたきっかけは、体が小さいので強くなってほしいと、お父さんとお母さんの勧めで一緒に始めました。

僕は、最初は体が硬く不器用なので練習について行くのが大変でした。今では体も柔らかくなり型では褒められたり、組手の試合では技ありをとれたりするようになり、自信がついてきました。努力をすればできないこともできるようになるので練習は大事だなと思いました。家でも弟と練習できるので、兄弟で空手を始めてよかったと思います。僕の夢は型と組手で全国大会に出ることです。そのために弟と一緒に頑張りたいと思います。（蒼士）

僕もお兄ちゃんと一緒に空手を始めました。練習の組手では怖くてすぐ泣いてしまいます。空手の大会でも最初は緊張と怖さで泣いてしまうこともありましたが、今では大会もいっぱい出て最後まで泣かないようになり、少しずつ勝てるようになりました。それもお兄ちゃんと練習したおかげだと思います。これからもお兄ちゃんと一緒に頑張って、大会で優勝できるようになりたいです。（慶士）



「兄妹で優勝を目指して」

西条支部

高橋拓真、栞菜



僕が空手を始めて約5年、栞菜が3年たちました。家族を守りたい。気持ちも強くなりたいと思い、習い始めました。最初は声も出ず、基本や型も難しく、全然できませんでしたが今では平安5までできる様になりました。

初めての組手の大会は上段を2回もらってしまい凄く悔しい思いをしました。それから氷見支部にも稽古に行き週4で志賀先生に指導して頂きました。そして稽古を頑張り初めての入賞で四国選抜大会初級で3位になった時は、家族はもちろん、志賀先生、先輩親御さん達が喜んでくれました。

僕が3年生になった時栞菜が道場に入り、すぐ悠心会館の大会で準優勝をとりました。あと一歩で優勝だったので凄く悔しそうでした。そんな中栞菜が腕を怪我してしばらく稽古ができなくなりかわいそうでしたが、蹴りの稽古をしたりできる事を一生懸命練習していました。

そして4年生の秋に団体戦に出させて頂きました。不安な気持ちもありましたが挑戦し先輩たちのおかげで準優勝することができて凄くうれしかったです。

栞菜も怪我が治ってからまた大会に出て準優勝をとりました。日々の稽古や稽古後も志賀先生にミット練習等をしてもらい少しずつですが成長しています。

大会や昇級審査、出稽古等に行くたびに戸田師範、師範代先生方に温かい言葉を頂きます。そして他支部の道場生との出会いもありました。西条支部の先輩たちはもちろんの事、戸田道場にはたくさんの凄い選手がいることも知り、支部関係なくお互いに応援しあえる仲間、友達もできました。

今は栞菜と一緒に自分たちのペースで空手を頑張っていきます。そして兄弟でW優勝できる日を目指して今まで以上に稽古を頑張っていきます。

西条
氷見支部

「組手を、型をマスターしたい」

杉森真衣、翔太

姉の真衣です。私達姉弟が空手を始めて4月で1年がたちました。最初にわたしが入り、1か月後に弟の翔太が道場に入りました。私が入る前に2年生の女の子が1人道場にいたのでしばらく3人で練習していました。

基本稽古、移動稽古、型、組手とたくさん覚えることがあって最初は難しいなと思いましたが、翔太と頑張って去年の秋に二人ともオレンジ帯になることができました。

私は組手が大好きで最初は足が上がりず上手く蹴れませんでした。志賀先生や鈴奈ちゃんと組手の練習をして、上段回し蹴りを蹴ることができるようになりました。5月に初めて組手の大会に出るのでしっかり練習を積んで優勝できるように頑張ります。

今は新しい子が入ってきて氷見支部も9人になりにぎやかになりました。稽古は厳しく疲れますがみんなと会えるので道場に行くのが楽しみです。これからも志賀先生にたくさん技を教えてもらって組手が強くなれる様に頑張ります。

翔太です。僕は型が大好きでまだ上手くはできませんが平安3まで志賀先生に教えてもらいました。組手も好きですが型をマスターすることが僕の目標です。

上の型になるとなかなか覚えるのも難しくなってきますが、決めた目標なのであきらめずに頑張ってお覚えています。最初は3人で練習していましたが今は9人になり僕と同級生の子が2人入りました。同級生と組手の練習をするようになって、痛いこともありますが組手も少しずつ自信がついてきました。5月に同級生の1人と初めて試合に出るので、一生懸命練習して2人で決勝で戦うことができる様に頑張ります。

最後に戸田道場に入って一番良かったことは道場の仲間と頑張ってみんなで強くなっていけることです。これからもみんなと強くなれる様に精一杯頑張ります。



「空手とぼくたち」

今治支部

安井大祐、祐貴

兄の大祐です。ぼくは2018年小学2年生の夏に入門しました。

入門した頃はよくからかわれることがあって辛かったけど、我慢して続けてきました。今、メンタルが強くなってきたのはそのおかげなのかなと思っています。

弟の祐貴です。ぼくは2019年小学1年生の夏に入門しました。

組手の試合でトロフィーやメダルをとれないことが多いので、1回戦や2回戦で負けないようにがんばりたいです。

親より

子供の成長の過程で体力と精神力を養うために「空手」を選び、他の道場も見学した結果、厳しさの中にも楽しさのある当支部に決めました。

兄の大祐は最初、体力もなく稽古中に眠たくなったり、発熱で定期的に休んだりして先生や周囲の方々にもご心配やご迷惑をお掛けしました。

しかし今では体格も技術も格上の相手に怖じ気づくこともなく向かっていく姿を見て、ご指導頂いた先生方に感謝しています。弟の祐貴はまだ気持ちの切り替えができないような時も垣間見えますが、少しずつ成長しているようです。

空手をやっているのは本人達であって親が押し付けたり、期待し過ぎたりしないように、後姿を見守ることで親も成長させて頂いています。



2023 小学生組手団体戦

開催日：令和5年11月23日（木・祝）

開催場所：愛媛県武道館 剣道場

令和5年11月23日(木・祝)昇級審査終了後の午後から愛媛県武道館2階剣道場において「2023年極真会館愛媛県戸田道場内小学生組手団体戦」が開催されました。

この大会は、小学生が低学年と高学年に分かれて各支部の代表選手3人によるチームを作って組手団体試合を行い、県内最強のチームを決めようという目的で、2018年の第7回部内交流大会の中で初めて実施しました。

今回も各支部から選抜された1チーム3人の選手が低学年の部と高学年の部に分かれ、トーナメント方式で戦いました。仲間でもありライバルでもある支部間の戦いはいつもの個人戦とは一味違って大いに盛り上がり、支部内の絆も益々深まったと思います。

今回は、低学年の部で優勝した今治支部の大將・菅陸人選手と、高学年の部で優勝した新居浜上部支部Aの大將・松木蒼真選手の二人に体験談を聞きました。

今治支部 菅陸人

僕は、年長から空手を始めました。はじめのころは毎回の稽古で泣いたり、行きたくないと何度も言ったり、たまには帰ったりもして、全然出来ませんでした。それでも、けいこを頑張り試合や強化稽古などいろんなことにチャレンジし、少しずつ自信がついてきました。

そして、二年になり団体戦に出ることになりました。その時は、一人の時よりも先生やチームのみんなが居て安心したのかあまり緊張しませんでした。

初めての団体戦では、みんなで頑張った結果準優勝をすることが出来ました。

それから一年練習し、三年生では大將で団体戦に出ることになりました。大將というだけでなぜか緊張していました。



でも、一、二年生が緊張している中、一生懸命頑張っているのを見て僕も頑張らなと、強く思いました。みんなの応援のおかげで、一回戦、二回戦と勝ち進んでいきました。次の準決勝では、相手に一本技ありが取られていて、一本技ありを取り返さないと負けてしまうのでヒヤヒヤしました。口から心臓が出そうでしたがみんなの応援の声が会場中に響きわたって、勇気が出てきてドキドキが楽しもうのワクワクにかわりました。そしてなんとか、合わせて一本勝ちすることができ決勝に進む事ができました。

決勝では、絶対に勝つぞという気持ちで試合に臨みました。一勝一敗で大将戦が始まり、お互い技ありを取っている状態で最後は判定勝ちすることが出来ました。団体戦で初めて優勝する事ができてとても嬉しかったです。

先生やみんなの応援の声にすごく勇気もらったし応援してくれている写真を見てすごくうれしかったし感動しました。先生、先輩、後輩みんなで取った優勝だと思います。すごく楽しかったし、感動したのでまた、四年でも出場したいです。押忍



今治支部チーム

新居浜上部支部 松木蒼真

僕は、令和5年11月23日に愛媛県武道館で開催された第5回戸田道場組手団体戦に新居浜上部支部Aチームの大将として出場させて頂きました。その日は午前昇級審査、午後組手団体戦がありました。

緊張の中、始まった1回戦目は、松山三津支部との対戦で先鋒が勝利し中堅が判定で負けてしまい1勝1敗になり自分が勝たなければ敗退してしまう状況となり緊張と不安の中コートに入りましたがチームのみんなや道場生の応援を頂いてやる気や勇気がでて何とか自分の組手ができ接戦の末、判定勝ちで2回戦目と進める事となりました。

2回戦目は松山味生支部とあたり先鋒の早い上段回し蹴りや中堅の強弱のついた突きや蹴りで勝利し2勝0敗で大将戦を迎えました。下段回し蹴りがタイミングよく決まり3勝0敗で2回戦目を突破し見事決勝戦に進むことができました。

決勝戦は松山潮見本部が相手です。全国大会出場経験がある高橋瑛徳君が大将として自分と対戦する事となり再び試合前から緊張が増してきました。

先鋒の浅海琥雅君が、突きを出しながら見事に上段回し蹴りを決めて技ありを取り勝利しました。中堅の白岡小夏さんは、強豪選手相手にひるむことなく立ち向かい勝利に等しい引き分けの結果を得ました。そして自分はチームの大将として先鋒、中堅の2人の頑張りを見てみんなの為に優勝したいと思いコートに立ちました。試合会場は道場生、保護者の皆様の声援の音が響きわたり大盛り上がりでした。俄然やる気が出ましたが瑛徳君のスピード、手数、技の種類に圧倒され徐々に防戦一方となり判定負けとなってしまいました。

結果は、1勝1敗1引き分けとなり先鋒が技ありを取っていたので新居浜上部Aチームが超接戦ながら見事優勝する事ができました。

僕はこの団体戦を通してみんなと励ましあい協力できたから優勝できたと思います。自分だけでなくみんなの為にというのは団体戦だけでなく今後いろいろな事に役に立てたいと思います。



新居浜上部Aチーム



◇結果◇	
低学年の部	
優勝	今治支部
準優勝	松山潮見本部
第3位	松山鷹子支部、新居浜川東支部
高学年の部	
優勝	新居浜上部支部A
準優勝	松山潮見本部
第3位	松山空港通支部

令和6年度 昇段審査

～若武者7人の限界への挑戦～



令和6年4月14日（日）極真会館愛媛県戸田道場 令和6年度昇段審査を新型コロナウイルス5類感染症移行に伴い、5年ぶりに松山潮見本部道場で行いました。

今年の昇段審査受審者は、松井瞭誠君、池田翔真君（今治支部）、小澤叶夢君（西条支部）、田邊秀磨君（新居浜上部支部）、清水航一郎君、村上晴紀君（松山潮見本部）、そして紅一点の村上咲弥さん（松山空港通支部）の7名でした。偶然にも中学、高校生のみという若武者だけの正に限界への挑戦でした。

受審者7人は幼いころから極真空手をはじめ、学業と部活や空手を両立させ、努力を続け今日という日を迎えました。

まずは学科試験から始まりました。皆さん緊張した面持ちで問題に取り組んでいましたが採点后、余りにも正解率が悪かった為、極真の黒帯は強さを求めるのではなく極真精神や理念をもっと学ばなければならないと戸田師範からお言葉をいただきました。指導者も今後しっかりと指導をして行かなければならないと反省を致しました。

そして基本審査は先ず正拳中段突き100本から始まりました。皆さん普段の稽古より本数が多い審査科目を精一杯の気合いと脱力でこなして行きます。そして休む間も無く移動審査へと続いて行きます。皆、脱力をしてスタミナを保持していますがそれでも段々と息使いが荒くなって来たのを感じました。そして型の審査へと続きます。



平安1から平安5と初段の指定型4つを殆ど休み無しに演じきりました。全員良く稽古をして来たのが分かりました。そして体力審査です。今回からボール蹴りが復活して受審者にとって初めての試みで心配致しましたが流石若さで次々とクリアして行きました。

そしてお昼休憩を挟んでいよいよ組手審査が始まりました。黒帯の先生や先輩を相手に怯むことなく力の限りを尽くしました。

そして受審者同時の対戦も含めて7人全員が10人組手を完遂致しました。終了後の記念撮影での全員の水だらけの道着が10人組手の激しさを物語っていました。

終了後の師範の講評で「人は一度体験した事は次からはそんなに苦痛に感じない。この苦しかった経験をこれからの人生の糧にして欲しい」という言葉に新ためて武道の真の極意は体験にあり、だと思いました。

5時間にも及ぶ審査でしたが、皆技術も体力も素晴らしく、若者らしい生き生きとした輝きを放っていました。

そして後日、受審者全員に合格が伝えられました。極真空手の昇段審査は厳しいですが、受審者にとって成長と向上の機会でもあります。審査を通過することは、自己の限界を超え、空手の道を更に深く探求する一歩となる事でしょう。

また、審査では戸田道場の師範代方、支部長方、多くの黒帯の先輩方の応援やご協力をいただき誠にありがとうございました。



福田ゆう（小学6年・新居浜上部）
小学生最後のグラチャンは絶対優勝できるようにがんばります。



高橋凜花（小学4年・潮見本部）
絶対優勝！！



芥川 團（小学6年・西条）
6年目。勝って小学校の思い出にします。



西森正道（小学6年・三津）
初出場！目指してきた試合なので、全力を出し切ります



岡田拓真（中学1年・空港通）
初めてのグラチャンなので得意の膝蹴りを決めて一回戦を勝ちたいです。



岩城斗也（中学2年・西条）
今年こそは優勝できる様に、全力を尽くします。押忍

第29回全日本少年少女空手道選手権大会

《オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦》

出場者の決意



高瀬 壮（中学2年・西条）
一戦一戦、集中して頑張ります。



高橋瑛徳（中学1年・潮見本部）
力戦奮闘！！



岡裕人（中学2年・潮見本部）
技を磨いて、一生懸命頑張って優勝を目指していきます！



田邊秀磨（中学2年・新居浜上部）
今回で二回目の出場。粉骨砕身の覚悟で稽古し入賞を目指します。！



福田心優（中学2年・新居浜上部）
今までの経験を生かして今度こそは優勝狙ってがんばります。



北光希（高校1年・今治）
慌てずに自分の組手を貫けるよう精一杯頑張ります。

栄えある入賞者

■型チャレンジカップ 2023 (2023/5/28 愛媛県武道館剣道場 悠心道場主催)

優勝 西森正道 (小5 上級 三津)、渡部陽道 (小4 中級 三津) 準優勝 土井瑛介 (小3 中級 味酒) 第3位 東大翔 (小5 中級 本部)

■リアルチャンピオンシップ愛媛県予選大会 (2023/7/9 砥部町陶海道ゆとり公園武道場 道真会館主催)

優勝 佐伯蓮都 (小3 男子上級 西条)、白岡小夏 (小5 女子初中級 上部) 準優勝 菅陸人 (小3 初中級 今治)、高橋凜花 (小3 女子上級 本部)、浅海愛夢 (小6 女子 上部)、岩城斗也 (中1 男子上級軽量級 西条)、田邊秀磨 (中1 男子上級重量級 上部) 第3位 上浅史人 (小5 男子上級 大洲)、土井湊太 (小6 男子初中級 味酒)

■第27回香川県空手道選手権大会 (2023/7/30 高松市西部運動センター体育館 極真会館香川県桑島道場主催)

優勝 高橋凜花 (小3 女子 本部)、福田ゆう (小5・6 女子 上部)、高瀬壮 (中1 男子 西条)、福田心優 (中1 女子 上部)、松木洋三 (壮年 A 上部)、三上和久 (一般男子上級 本部) 準優勝 西森正道 (小5 男子 三津)、田邊秀磨 (中1 男子 上部)、三上汰明 (一般男子上級 本部) 第3位 上浅史人 (小5 男子 大洲)、保子凜成 (小6 男子 上部)

■第1回カシエルカップ (2023/8/11 新居浜市民体育館 正道会館 KCIEL 主催)

優勝 秦瑞来 (小6 男子初級 鷹子)、松井弥陸 (一般男子軽量級上級 今治) 準優勝 西森正道 (小5 男子軽量級上級 三津)、原田朔矢 (小6 男子初級 今治)、岩城斗也 (中1 男子軽量級上級 西条) 第3位 谷口莉駒 (小4 男子初級 今治)

■大阪城杯夏の陣 (2023/8/27 大阪市立中央体育館 極真会館関西総本部主催)

第3位 高橋凜花 (小3 女子 本部)、西森正道 (小5 男子軽量級 三津)、田邊秀磨 (中1 男子重量級 上部)



■第4回オープントーナメント全日本空手道選手権大会 (2023/8/27 大阪舞洲アリーナ 極真会館中村道場主催)

優勝 山下学 (壮年男子 45~49 歳以下軽量級 今治)

■第5回全日本空手道ジュニア新人育成選手権四国大会 (2023/9/18 愛媛県武道館主道場 悠心道場主催)

優勝 中川琉偉 (小2 男子チャレンジセカンド 本部)、土井瑛介 (小3 男子チャレンジファースト 味酒)、土井湊太 (小6 男子ミドルセカンド 味酒)、佐伯魁成 (中2 男子チャレンジファースト 本部) 準優勝 高橋栞菜 (小2 女子チャレンジファースト 西条)、白岡小夏 (小5 女子ミドルファースト 上部)、松本朱華 (小5 女子チャレンジファースト 味酒) 第3位 池田仁華 (小1 女子ルーキー 本部)、藤田陸叶 (小3 男子チャレンジファースト 上部)、松本藍希 (小4 男子チャレンジファースト 味酒)、玉井悠翔 (小6 男子チャレンジファースト 西条)、芳野翔琉 (小6 男子ミドルセカンド 三津)、伊與田恵士 (小4 男子ミドルファースト 味生)

■第20回三重県空手道選手権大会 (2023/10/29 三重県四日市市中央第2体育館 極真会館三重橋本道場主催)

準優勝 保子凜成(小6男子重量級 上部)



■2023 極真カラテ全中四国交流大会 (2023/11/19 高松市香川総合体育館 極真会館桑島道場主催)

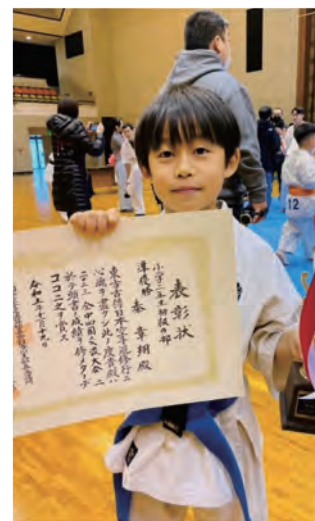
優勝 秦友輝(高校生男子 川東)、岡田拓真(小6男子中・上級 空港通)、東大翔(小5男子中・上級の部 本部)、野本明那(小4女子 鷹子) 準優勝 小山晴渚(一般女子 味酒)、野本朔弥(小3初級 鷹子)、秦章翔(小2初級 鷹子)、保子輝心(幼年 上部) 第3位 高須賀大和(小1 鷹子)、中坂要一郎(小2初級 鷹子) 敢闘賞 八木優磨(小6男子中・上級 今治)

■第17回 JKJO 全日本ジュニア空手道選手権大会 (2023/11/26 国立競技場代々木第一体育館メインアリーナ 全日本空手審判機構主催)

準優勝 北光希 (中2・3男子 57kg以上 今治)

■第10回四国中央空手道選手権大会 敬心杯 (2023/12/10 伊予三島市運動公園体育館 日本空手道敬心館主催)

優勝 近藤悠誠(小5男子チャレンジ 今治)、保子凜成(小6男子40kg以上チャンピオン 上部)、北光希(中学男子重量級 今治)、丹下英人(壮年 県警) 準優勝 片岡快晴(小1チャレンジ 川東)、井上慶士(小1男子ビギナーズ 川西)、浅海愛夢(小6女子チャレンジ 上部)、秦友輝(高校チャンピオン 川東) 第3位 藤田陸斗(小3男子チャレンジ 上部)、芥川團(小5男子チャンピオン 西条)、日野煌太(小6年男子チャレンジ 川東)



■大阪城杯冬の陣 (2024/01/14 守口市民体育館小体育室 極真会館関西総本部主催)

準優勝 保子輝心(幼年男子 上部)、高橋瑛徳(小6男子軽量級 本部)、保子凜成(小6男子重量級 上部)

第3位 芥川團(小5男子重量級 西条)、福田ゆう(小5女子 上部)

■第9回リアルチャンピオンシップ決勝大会 (2024/01/14 グリーンアリーナ神戸 宮野道場主催)

優勝 北光希(中2・3男子 57kg以上 今治)



■第6回 WKO ジャパンアスリートカップ (2024/01/28 大阪エディオンアリーナ WKO JAPAN 主催)

第3位 北光希(中3男子 60kg以上 今治)

■第5回極真カラテ広島親善交流試合 (2024/02/12 東広島運動公園 1F 武道場 極真会館広島県宗政道場主催)

型の部 優勝 渡部陽道(小学生高学年 三津)、準優勝 志賀賢一(中学生～一般 西条) 第3位 日野煌太(小学生高学年 川東)、村上咲弥(中学生～一般 空港通)

組手の部 優勝 白岡陸(小3上級男女混合 上部)、佐伯蓮都(小3上級男女混合 西条)、上浅史人(小5男子上級 大洲)、岡田拓真(小6男子上級 空港通) 準優勝 佐伯大嘉(小5男子上級 西条)、白岡小夏(小5女子 上部)、小山晴渚(高校生一般女子 味酒) 第3位 堀川大心(小1男女混合 今治)、日野瑠太(小5男子上級 川東)、近藤悠誠(小5男子上級 今治)

■第8回ローズカップ (2024/02/18 エフピコアリーナふくやま 日本空手道志琉会主催)

優勝 神原敏行(マスターズ 35歳以上 今治)、福田心優(上級中1女子+42kg 上部) 第3位 福田ゆう(上級小5女子+35kg 上部)、伊藤陸(上級中2男子-55kg 今治)

■2024 京都大会 (2024/03/10 京都市武道センター 極真会館関西総本部主催)

第3位 芥川團(小5男子重量級 西条)



令和 6 年度 強化選手指定者

(組手の部)

昨年 5 月に新型コロナが感染症法上の分類が「5 類」に引き下げられたことで、各大会が通常の開催になったことからコロナ前と同じように、多くの道場生が大会に出場し優秀な成績を収めました。

今年の強化選手 A の指定者の人数は昨年より 1 人増えた 11 人でした。

しかし、新規指定が 8 人で、連続して指定されたのは松木洋三先輩（新居浜上部）、高瀬壮君（西条）、高橋凜花さん（本部）の 3 人だけで A を継続することがいかに難しいかが分かります。

強化選手 B は 20 人と昨年より 1 人減と、あまり変わりありませんでした。

その内 11 人とはほぼ半分が新規登録であり、新旧の入れ替えの激しさがありませんでした。

強化選手 A,B 指定の多くは上部、今治、西条、本部道場が占めています。

【組手強化選手 A】11 人

三上和久（一般男子 本部 新規）、松井弥陸（一般男子 今治 新規）、志賀賢一（壮年 西条 新規）、松木洋三（壮年 上部 継続）、保子圭（壮年 上部 新規）、小澤叶夢（高校 2 西条 新規）、高瀬壮（中学 2 西条 継続）、田邊秀磨（中学 1 上部 新規）、保子凜成（中学 1 上部 新規）、岡田拓真（中学 1 空港通り 新規）、高橋凜花（小学 4 女子 本部 継続）

【組手強化選手 B】20 人

三上汰明（一般男子 本部 新規）、山下学（壮年 今治 新規）、秦友輝（高校 3 年 川東 新規）、北光希（高校 1 年 今治 新規）、伊藤陸（中学 3 年 今治 継続）、神原杏菜（中学 3 今治 新規）、岩城斗也（中学 2 西条 継続）、福田心優（中学 1 女子 上部 継続）、浅海愛夢（中学 1 年女子 上部 継続）、芥川團（小学 6 西条 継続）、東大翔（小学 6 本部 継続）、上浅史人（小学 6 大洲 継続）、西森正直（小学 6 三津 新規）、福田ゆう（小学 5 女子 上部 新規）、白岡小夏（小学 5 女子 上部 新規）、菅陸人（小学 4 今治 継続）、佐伯蓮都（小学 4 西条 継続）、土井瑛介（小学 4 味酒 新規）、中川琉偉（小学 3 本部 新規）、保子輝心（小学 1 上部 新規）

(型の部)

型の強化選手は A のみであり今年は 4 人が指定されました。

型試合は組手と比べると他流派の大会を含めて少なく、入賞するチャンスもあまりなく、大洲大会や昨年 9 月に行われた全国型大会で上位の成績をあげた選手が指定されました。

また、来年 1 月 19 日（土）に第 1 回オープントーナメント型全日本大会が横浜武道館で開催されることが決まっています、今年は 3 月にあった国際親善大会の準優勝者以上が選ばれています。

さらに、全国でも選抜大会が開催予定であり出場の機会も増えて強化選手が増えることが予想されます。

【型強化選手 A】

寒作智美（壮年女子 味酒支部支部長 継続）、寒作心（中学 1 本部 新規）、西森正直（小学 6 三津 継続）、渡部陽道（小学 5 年 三津 新規）

組手強化指定選手 A に指定される条件

- ① 全日本少年少女空手道選手権大会～グランドチャンピオン決定戦の権利取得大会で準優勝以上、あるいは（一社）極真の指定大会（香川県極真カラテ交流大会、広島親善試合等）の上級の部で準優勝以上をそれぞれもしくは組み合わせて 2 回以上入賞すること。
- ② 一般部・壮年部はこれ以外に全日本ウェイト制空手道選手権大会、全日本空手道選手権大会で 8 位以内の入賞、高校生以下は全日本少年少女空手道選手権大会グランドチャンピオン決定戦で 3 位以内に入賞すれば 1 回で指定される。

◆組手強化指定選手 A に指定された選手は合宿費の免除、（一社）極真会館主催大会の出場料全額負担、全日本大会の旅費やその他海外の大会出場時の旅費の一部負担などの支援を得られる。

組手強化指定選手 B に指定される条件

- ① 四国選抜大会、（一社）極真会館主催の大会、及び他流派の四国選抜空手道選手権大会と同等な大会において 4 位以上入賞を年間 2 回以上（初級を除く）
- ② 四国選抜大会（一社）極真会館主催の大会、及び他流派の四国選抜大会と同等な大会の初級の部で優勝を 2 回以上した場合
- ③ あるいは①、②を組み合わせて年間 2 回以上入賞した場合。

◆組手強化選手 B に指定された選手は合同強化稽古の参加費が免除される。

型強化指定選手 A に指定される条件 ※型の強化指定選手は A のみ

- ① 全国の（一社）極真会館道場が主催するオープントーナメント全日本型選手権大会の権利取得大会で優勝を年 2 回以上。
- ② オープントーナメント全日本型選手権大会で入賞（各クラス出場人数で入賞者が決まるため）

◆型強化選手 A に指定された選手は合宿費の免除、型合同強化稽古の参加費免除、（一社）極真会館主催する型大会の出場料全額負担、全日本型大会の旅費一部負担などの支援が得られる。

昇級審査合格者

【令和5年7月16日(日) 愛媛県武道館柔道場】

少年部 67人

◇1級 岡裕人(本部) ◇2級 砂田鷹影(上部)、砂田蒼彩(上部)、高橋瑛徳(本部)、岡田拓真(空港通)、井口尊心(三津) ◇3級 日野煌太(川東)、芥川團(西条)、芳野翔琉(三津)、土井湊太(味酒)、大平すず(宇和) ◇4級 日野瑠太(川東)、兵頭海輝(三津)、阿部杏香(三津)、小川紗良(三津)、原田朔矢(今治)、秦瑞来(鷹子) ◇5級 古江理人(味酒)、松本朱華(味酒)、荒牧晃希(空港通)、白岡小夏(上部) ◇6級 砂田琉(上部)、鎌田琉碧(上部)、二宮新太(本部)、阿立武大(本部)、松本藍希(味酒)、西野成(空港通)、瀧宮蔵人(三津)、芳野穂佳(三津)、福田ころこ(三津)、阿部光真(三津)、岡井陽大(鷹子) ◇7級 片岡快晴(川東)、高石真佐斗(上部)、瀧平陸翔(味酒)、土井瑛介(味酒)、山蔭琉生(上部)、山本昂汰(今治)、別宮希琉(今治)、持田知(味酒)、吉田藍人(三津) ◇8級 日野聖太(川東)、山蔭恋々菜(上部)、平澤紗有(川西)、井口心葵(三津)、鎌田琉煌(上部)、山本響生(高津)、滝野琥太郎(高津)、山本絢華(今治)、柳原朔哉(今治)、高津啓輔(今治)、榎蓮斗(今治)、芳野翔馬(本部)、持田育(味酒)、川口拓人(三津)、河野光快(味生)、秦章翔(鷹子) ◇9級 濱本稜斗(三津)、野本朔弥(鷹子)、増田令(大洲) ◇10級 萬條絢斗(上部)、保子輝心(上部)、西野至恩(今治)、永井悠輝(今治)、高須賀大和(鷹子)、野本龍新(鷹子)、野本月虎(鷹子)

一般部 15人

◇1級 荒牧優翔(空港通) ◇2級 玉井祐子(本部)、仙波優佳(本部)、竹田依緒莉(味酒)、兵頭佑哉(三津) ◇3級 穂木徹(高津)、近藤裕介(空港通)、瀧平陽子(味酒) ◇4級 越智茂登実(味酒)、榎祐輔(今治) ◇5級 近藤恵(今治)、横道葵衣(本部) ◇6級 佐伯魁成(本部) ◇7級 穂木真美(高津)、平澤織奈(川西)

【令和5年11月23日(木・祝) 愛媛県武道館副道場】

少年部 62人

◇1級 保子凜成(上部) ◇2級 松本蒼真(上部)、寒作心(本部)、矢野翔琉(大洲) ◇3級 安井大祐(今治)、宮崎悠一郎(本部)、上浅史人(大洲)、立川湧空(大洲)、浅海愛夢(上部) ◇4級 白岡小夏(上部)、高橋拓真(西条)、安井祐貴(今治)、東大翔(本部)、渡部陽道(三津)、秋月騎心(味生)、玉井悠翔(西条)、佐伯大嘉(西条)、越智隆史朗(味酒)、和氣里彩(鷹子)、逢坂裕裕(鷹子)、石丸遥煌(鷹子) ◇5級 八木結聖(今治)、近藤悠誠(今治)、坂本國弘(本部)、久保田颯介(味生)、川端大雅(味生)、伊與田恵士(味生)、野本明那(鷹子)、武田禅(鷹子)、高石真佐斗(上部) ◇6級 佐伯蓮都(西条)、高橋凜花(本部)、山本日向(味生)、和氣遼哉(鷹子)、山蔭恋々菜(上部)、岡林蓮(味生) ◇7級 白岡陸(上部)、平澤紗有(川西)、高橋葉菜(西条)、星加遥希(西条)、小西奏大(今治)、別宮麗羽(今治)、與三川陽翔(空港通)、中坂要一朗(鷹子)、一色爽司(鷹子)、中根丈太郎(西条)、品川心作(本部)、人見遙紀(味酒)、奥藤政信(味生) ◇8級 野本咲月(鷹子)、堀川大心(今治)、奥藤大樹(味生) ◇9級 山田仁(川東)、杉森真衣(氷見)、和田鈴奈(氷見)、日吉恵琉(本部)、菅希良(三津) ◇10級 鈴木璃音(上部)、杉森翔太(氷見)、芳野広翔(本部)、渡部煌成(三津)、小笠原碧泉(味生)、中坂映亮(鷹子)

一般部 20人

◇2級 大滝晃平(上部)、白石悠翔(高津)、神原杏菜(今治)、村上颯(空港通)、濱田夏向(大洲) ◇3級 穂木竜之介(高津)、近藤千尋(本部)、岡田真治(空港通) ◇4級 近藤瑛斗(本部)、秦友輝(川東) ◇5級 野村愛里佳(味酒)、柴田康輝(大洲)、玉井亮史(西条)、小池一平(宇和) ◇6級 星加晃志(西条)、守谷愛美(今治) ◇7級 遠藤千亜莉(今治)、遠藤玲依愛(今治) ◇8級 小西亜希(今治) ◇9級 河野愛子(今治)

【令和6年2月3日(土) 松山市野外活動センター体育館】

少年部 58人

◇1級 岡田拓真(空港通) ◇2級 日野煌太(川東)、芳野翔琉(三津)、西森正道(三津) ◇3級 日野瑠太(川東)、白岡小夏(上部)、川上滉人(高津)、秦瑞来(鷹子) ◇4級 近藤悠誠(今治)、谷口莉駒(今治)、中尾梓(味酒)、松本朱華(味酒)、西野万琴(空港通) ◇5級 浅海琥雅(上部)、西濱政希(本部)、二宮新太(本部)、松本藍希(味酒)、芳野穂佳(三津)、福田ころこ(三津)、岡井陽大(鷹子) ◇6級 片岡快晴(川東)、藤田陸叶(上部)、白岡陸(上部)、持田知(味酒)、瀧平陸翔(味酒)、日野聖太(川東) ◇7級 山本響生(高津)、滝野琥太郎(高津)、井上蒼士(川西)、井上慶士(川西)、菅陸人(今治)、榎蓮斗(今治)、中川琉偉(本部)、持田育(味酒)、川口拓大(三津)、河野光快(味生)、秦章翔(鷹子)、白石晴都(内子)、李子墨(川東)、濱本稜斗(三津) ◇8級 野本朔弥(鷹子)、増田令(大洲)、李子丞(川東)、池田仁華(本部)、野村圭吾(味酒)、瀧平寛人(味酒)、高須賀大和(鷹子)、野本龍新(鷹子)、野本月虎(鷹子)、渡部結衣(三津) ◇9級 保子輝心(上部)、越智瑛介(西条)、立石佳愛(鷹子)、沖江歩(大洲)、櫻田志歩(内子) ◇10級 峯雪遥毅(今治)、兵頭湊人(三津)、石丸凌空(鷹子)

一般部 17人

◇1級 矢野一志(川東) ◇2級 穂木徹(高津)、榎祐輔(今治)、石川瑚乃美(県警) ◇3級 合田麗史(川東)、村上一琉(本部)、近藤恵(今治)、西野心陽(空港通) ◇4級 辻田道晴(川西)、武智百香(本部) ◇5級 穂木真美(高津)、山蔭琉生(上部) ◇8級 本田正弘(三津) ◇9級 小林桃菜(今治)、谷口愛莉(今治)、野本絢香(鷹子)、築山信哉(鷹子)





トピックス

戸田道場の活動や、道場生の活躍をピックアップ!



夏季、春季松山市全国大会出場者壮行会

令和5年7月に令和5年度松山市小学生夏季全国大会出場者壮行会が松山市役所で開催されました。戸田道場からも、9月に横浜市で行われる型の全国大会に出場する3人が出席しました。また、令和6年3月には春季壮行会が開催され、6月の全国少年少女空手道選手権大会グランドチャンピオン決定戦に出場する5人が出席しました。



西条市長表敬訪問

令和5年7月27日

第28回オープントーナメント全日本少年少女空手道選手権大会グランドチャンピオン決定戦での高瀬壮選手の第3位(中学1年生男子軽量級の部)、小澤叶夢選手の第3位(高校1年生男子軽量級の部)及び第39回オープントーナメントウェイト制全日本空手道選手権大会での志賀賢一選手の準優勝(壮年男子40歳重量級の部)の報告に玉井敏久市長を表敬訪問しました。



今治市長への表敬訪問

令和5年7月31日

第28回オープントーナメント全日本少年少女空手道選手権大会グランドチャンピオン決定戦での小澤叶夢選手の第3位(高校1年生男子軽量級の部)及び第39回オープントーナメントウェイト制全日本空手道選手権大会での松井弥陸選手の第3位(男子軽量級の部)の報告に徳永繁樹市長を表敬訪問いたしました。



令和5年8月合同強化稽古開催

第10回四国選抜大会での勝利を目指し、戸田道場合同強化稽古を開催しました。初・中・上級者の3つに分かれてミットやスパーリング等を行いました。



まつやまスポーツ笑顔大賞

令和6年3月2日

「まつやまスポーツ笑顔大賞」の表彰式でした。極真会館愛媛県戸田道場からは選手枠で渡部陽道選手、北光希選手が、指導者枠として戸田美智男師範、神原敏行支部長が表彰されました。また、空手道全体の代表者として渡部陽道選手が表彰を受け取りました。



令和6年3月合同強化稽古開催

国際親善空手道大会に向けて、戸田道場合同強化稽古を開催しました。8月の合同稽古同様初・中・上級者の3つに分かれて行いました。



秋合宿～宿泊合宿を4年ぶりに開催～

令和5年9月23日・24日

戸田道場秋合宿を開催しました。宿泊を伴う合宿はなんと4年ぶりです。1日目は150人が参加し、投げとミットやスパーリング等の組手の稽古を行いました。秋合宿2日間が無事に終了しました。2日目は14支部対抗ウォークラリーと初めてのヌンチャク稽古、そして移動と型の稽古を行いました。ウォークラリーは下記3チームが高得点を取得して、景品のミットを手に入れました。

1位 味酒Aチーム

2位 本部Bチーム

3位 空港通チーム

久しぶりの宿泊合宿はとても疲れましたが、通常の稽古では味わうことができない稽古をやり遂げ充実感でいっぱいになりました。



保護者向けセミナー

戸田道場秋合宿にて、メンタルトレーナーの桐山奈穂先生を講師にお呼びして、保護者向けのセミナーを開催しました。戸田師範の指針の一つである、1人で生きていける子供の育て方に役立ててもらおうと試みたものです。桐山先生は、これまでアスリートや県内のスポーツ選手、空手の全日本選手のメンタルトレーナーをされてきました。以前は、潮見本部でもセミナーをしていただいていたがこの度久しぶりの開催となりました。セミナーには50名を超える保護者の皆様に参加頂きました。



北光希選手表彰

今治市のスポーツ優秀選手賞に北光希君が表彰されました。



ベルギーとスウェーデンの師範が本部稽古に参加

令和6年4月3日

国際セミナーに参加されたベルギーのルー師範とスウェーデンのヨハン師範が、松山潮見本部の稽古に参加してくださいました。道場生一同この貴重な機会を大いに楽しみました。二人の師範は「戸田道場、それに本部道場は大きなひとつの家族のようだ」ともおっしゃってくれ、大変嬉しかったです。



小野支部新規開設

令和6年4月6日

松山小野公民館にて、小野支部の道場開きが行われました。鷹子支部を指導している神原支部長が、道場生から稽古を週2回に増やして欲しいという要望があったことと松山市東部地区に極真空手を広めようという考えもあったことから、小野支部の新規開設を決意しました。道場開きには戸田師範を初め、楠田師範代、烏谷師範代も駆けつけ、さらに、地元に住む戸田道場後援会副会長の松尾和久県会議員もお祝いに来ていただくと共に、鷹子支部の道場生と保護者の皆さんも大勢参加して頂き、賑やかな式になりました。



冬合宿の開催

令和6年2月3日・4日

戸田道場宿泊冬合宿が終了しました。

審査から始まり、合宿、寒行とかつてなく盛りだくさんな2日間でした。合宿では基本、型、組手の稽古に加えて、来月開催する国際セミナーの演武やヌンチャクの練習も行いました。また、3日夜に行った支部長会議では国際セミナーについてじっくり話し合いました。

黒帯や一般部の皆さんには大変ご協力頂きありがとうございました。



西条市長表敬訪問

令和6年5月2日

第二回オープントーナメント全日本極真空道選手権大会シニア男子(40歳から47歳)重量級の優勝の報告として西条市の玉井敏久市長を表敬訪問しました。準優勝の報告で今まで2回伺いましたが、3度目の正直で優勝の報告ができて良かったです。玉井市長も大変喜んでくれました。



能登半島地震に支援金送付

令和6年1月1日に発生した能登半島地震は甚大な被害が石川県や周辺地域を襲いました。戸田道場では、地震直後に全支部に義援金を募り、集まった「538500円(戸田道場事務局の支援金15万円を含む)」を石川県の義援金受付窓口である石川銀行の口座に振り込みをしました。支援金にご協力いただいた道場生、ご家族の皆様には深く感謝申し上げます。戸田道場では、過去にも「東日本大震災」「西日本豪雨」「熊本地震」等の自然災害に同様に募金活動や物資の送付、またはご両親が交通事故や犯罪で亡くなった遺児の方に奨学金を送る活動を定期的に行っていました。今後も災害時の義援金送付や被災者、被害者に寄り添った活動を行ってまいります。

坊ちゃんスタジアムで応援演武

令和6年4月13日

坊ちゃんスタジアムで開催された愛媛マンダリンパイレーツのホーム開幕戦にて、愛媛マンダリンパイレーツの2024シーズンの健闘を祈願し、戸田道場が応援演武を行いました。多くの道場生の皆さんにご参加いただき、気合の入った大きな声が広い球場で響き渡りました。





第1回アジア空手道選手権大会 志賀支部長・神原支部長日本代表決定

8月1日（木）にカザフスタンの首都アスタナで開催されるアジア大会に4月21日に東京で開催された「統一極真全日本大会」のシニア男子重量級で優勝した志賀賢一支部長と同クラスで準優勝した神原敏行支部長の2人が日本代表として出場することが決定されました。2人は戸田師範と共に志賀支部長は西条市長、神原支部長は今治市長に表敬訪問を行い、さらに6月には中村知事との栄えある表敬訪問が決まっています。日本代表として素晴らしい戦いをすることが期待されています。



ファミリー・レディース・シニアセミナーと帯研

令和6年1月8日

戸田道場初めての試み「ファミリー・レディース・シニア合同セミナー」を行い、その後帯研を行いました。どちらも日頃の組手強化稽古ではなく、型の分解や、セルフデフェンス、正しい息吹のやり方、そして瞑想など、我々が目指す「一生空手が続けたい」と思ってもらえる意義のある稽古を行いました。セミナーと帯研終了後には、県警極真空手部員5人を含んだ黒帯総会を実施し、3月末に開催する国際セミナーの運営など重要な議題について話し合いました。今後、新年恒例の行事にしていきたいと考えています。



戸田師範（一社）副理事長就任

令和6年3月7日

（一社）極真会館理事会により、戸田師範が副理事長に選任部長の就任が決まりました。戸田師範の副理事長就任は、他の理事等が長期に亘って空手専門で活動してきた中で、警察官や行政書士として仕事と空手を両立してきた稀有な立場であることから、ある程度驚きを持って空手界に反響を呼びました。戸田副理事長には、（一社）極真会館を国内外に更に発展するために、今後大きな力を発揮することが期待されます。

戸田師範 行政書士として

戸田師範は愛媛県警、NTT西日本愛媛支店、そして現在は行政書士をしながら空手修行を続けています。空手と勉強、空手と仕事を両立する「文武両道」が極真会館戸田道場の大きな目的の一つですが、戸田師範自らがそれを体現しています。今年1月に「愛媛県行政書士会機関誌」に戸田師範の寄稿文が載りましたので転記します。

相談業務に特化

松山支部 戸田美智男

現在の私の仕事内容について県行政書士事務所から依頼があったので簡単に記します。
自宅に事務所を開いたのが平成30年5月のことです。年は取っていますがまだ6年目に入ったばかりの新米です。
その年にNTT西日本を退職して、残り少ない人生を「街の法律家」として社会の役に立てたうえで収入を得られると思い、資格を取って開所しました。
NTTで総務部門を経験し、労務管理つまり勤怠管理や福利厚生といった労働関連管理やハラスメント、クレームの知識を得ていてまた実務もこなしていたことから、この経験を生かして中小企業等からの相談を受けて、アドバイスを行う「相談業務」に特化した仕事を行おうと思いました。
少し時間はかかりましたが、幸運にも1年目で建設会社が、次にホテルのアメニティ製造販売会社、そして海運会社など複数の企業に広がっていき定期的に仕事を頂いています。
現在は、個別業務の傍らで経営者のかかえる様々な経営課題や法務問題、時にはクレームに関する相談に乗るなどアドバイスやサポートをさせて頂いています。
年は取っても、行政書士業務のお陰で充実した人生を送らせて頂いています。



第11回オープントーナメント四国選抜空手道選手権大会開催の決定！

令和6年度に開催される「第11回オープントーナメント四国選抜空手道選手権大会」が10月6日（日）に愛媛県武道館主道場で開催されることが決まりました。

昨年からは上級者だけでなく、初心者や中級者など、これから強くなることを目指す選手にも門戸が開かれ出場者が約500人になるなど、組手試合を望む全ての選手に出場して頂けるような大会を目指しています。

新日本建設株式会社

は極真会館愛媛県戸田道場を 応援しています。

「暮らし」を試す

新日本建設の家は、他とどこが違うのだろう。

自然素材でできた家は、何がどう違うのだろう。

そんな疑問を解消するために、実際に泊ってみませんか？

ドアを開けた時に感じる木の香り。

素足に触れる床の感触。

目覚めた時の心地よい温度や湿度。

全身で感じてください。

本社にて無料相談会やってます。
お気軽にお越しください。

TEL:0120-41-0006
(受付時間 09 : 00～18 : 00)

〒791-0054

松山市空港通3丁目9-3

TEL (089) 971-0255

新日本建設株式会社

FAX (089) 971-0573